

**まちなか生活実態調査報告書**  
**【自治会（町内会）調査】**

平成29年10月

鳥取県元気づくり総本部元気づくり推進局  
とっとり暮らし支援課

# 目次

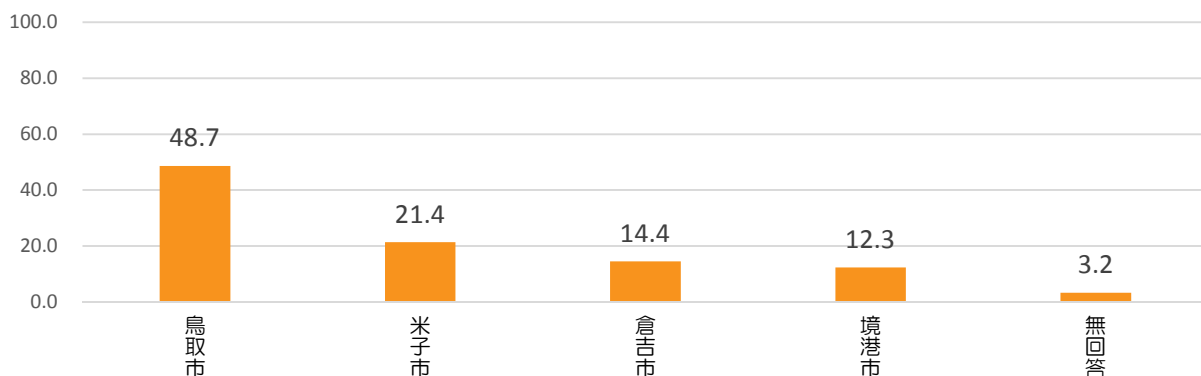
調査の概要	3
調査自治会(町内会)の回答者数、回答率	4
<b>1、自治会(町内会)の状況</b>	
1-1) 自治会(町内会)の加入世帯数、加入者数	5
自治会長(町内会)の任期、自治会費(町内会費)の額	6
1-2) 自治会(町内会)総会への参加割合	7
1-3) 自治会(町内会)規模は、運営上適正規模か	7
規模で「②小さすぎる」「③大きすぎる」と回答された方で、今の規模となった理由(自由記述)	8
今の規模で、運営上での問題点(自由記述)	8
自治会(町内会)の適正だともう規模	8
自治会(町内会)との間で共同化することについての対策や話し合い	9
1-4) 住民の方からの、自治会(町内会)運営に関する意見・提案等(自由記述)	10
1-5) 町内会加入の条件	11
1-6) 自治会(町内会)活動として必要な活動、不必要だと考える活動(自由記述)	12
1-7) 自治会費(町内会費)の使途	13
<b>2、くらしの安心</b>	
2-1) 地震・火災・大雪等の災害を想定した、自治会(町内会)における対策や話し合い	14
2-2) 自治会(町内会)における自主防災組織の結成の有無	15
2-3) 自治会(町内会)での防災活動(いくつでも)	16
2-4) 自治会(町内会)で行っている除雪の取組の有無	17
2-5) 自治会(町内会)区域での空き家の有無、空き家の現在の状況	18
空き家に対する自治会(町内会)としての評価	19
評価が「①活用の可能性があるなど、何らかの価値がある」の場合の理由	19
空き家を建物として活用する場合の活用方法	19
空き家に対する自治会(町内会)としての評価が「②価値がない」場合の理由	20
空き家を解体して土地として活用する場合の活用方法	20
2-6) 民生委員等福祉関係役員の選出の困難	21
2-7) 地域福祉活動(見守り、交流サロン、地域防災など、自治会で行う福祉活動)を進める上で困ること。(自由記述)	21
<b>3、生活環境(交通・店舗・医療)</b>	
3-1) 地域における、過去10年間の公共施設・サービス等の変化	22
3-2) その他、過去10年間に地域で大きな状況の変化(自由記述)	23
3-3) 交通・買い物・通院等に関する対策や話し合いの有無	23
<b>4、コミュニティ(地域社会)</b>	
4-1) 自治会(町内会)区域での固有の文化的資産(伝統芸能、祭など)の有無	24
4-2) その他、住民同士の交流を推進するための地域資源やグループの有無	24
4-3) 内外問わず住民同士の交流を推進する取り組みについての意向	25
4-4) マンション等の地域の自治会(町内会)への加入状況	25
4-5) マンション等で地域の自治会(町内会)との連絡窓口になっている方	26
4-6) マンション等入居者と地域住民の方との近所付き合いの今後のあり方	26
<b>5、困りごと、不安</b>	
5-1) 現在、地域で困っていること(自由記述)	27
5-2) 将来に向けて、日頃不安に感じていること(自由記述)	30
5-3) 地域で不足しているサービスで、何か必要なもの(自由記述)	32
<b>6、その他、自由意見</b>	33-37

## 調査の概要

- 1) 調査の目的  
県内都市部における人口減少・高齢化の進行に伴うコミュニティ活動の停滞、災害時対応への不安、空き家の増加、買い物弱者の発生などの実態把握と支援施策検討の基礎資料とする。
- 2) 調査対象  
(1) 世帯調査：指定した16地区から無作為に抽出した世帯  
(2) 自治会（町内会）調査：指定した16地区の全自治会（町内会）
- 3) 調査地区  
鳥取市：久松、醇風、遷喬、日進、明德、中ノ郷、末恒、若葉台【新規】  
米子市：啓成、明道、就将、義方（各地区の一部）、永江【新規】  
倉吉市：成徳、明倫  
境港市：境
- 4) 調査内容  
(1) 世帯調査  
世帯の状況、住まい、くらしの安心、交通、買い物、通院、コミュニティ、居住に関する今後の意向、困りごと、不安その他に関する事項  
(2) 自治会（町内会）調査  
自治会（町内会）の状況、くらしの安心、生活環境（交通、店舗、医療）、コミュニティ、困りごと、不安その他に関する事項
- 5) 調査方法  
配布調査（世帯調査は無記名調査）、郵送回収
- 6) 調査基準日  
平成29年6月1日
- 7) 調査客対数  
(1) 世帯調査：14,189世帯  
(2) 自治会（町内会）調査：275自治会（町内会）
- 8) 回答率  
(1) 世帯調査：30.1%（4,265／14,189世帯）  
(2) 自治会（町内会）調査：68.0%（187／275自治会（町内会））
- 9) 調査結果の数値について  
(1) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数（標本数）です。全標本数ベースを示す「全体」を「N」、該当数ベースを「n」で表記しています。  
※複数回答可能な項目については、回答対象者の総数を記載しています。  
(2) 数値は、小数点以下第2位を四捨五入しています。したがって回答比率の合計は必ずしも100%とならない場合があります。  
(3) 見やすさ考慮し、回答割合が極端に少ない数値（例：0.0%、0.1%など）は表記から割愛している場合があります。  
(4) 図表によっては、回答割合の高い順に並べ替えている場合があります。

## 調査自治会（町内会）の回答者数、回答率

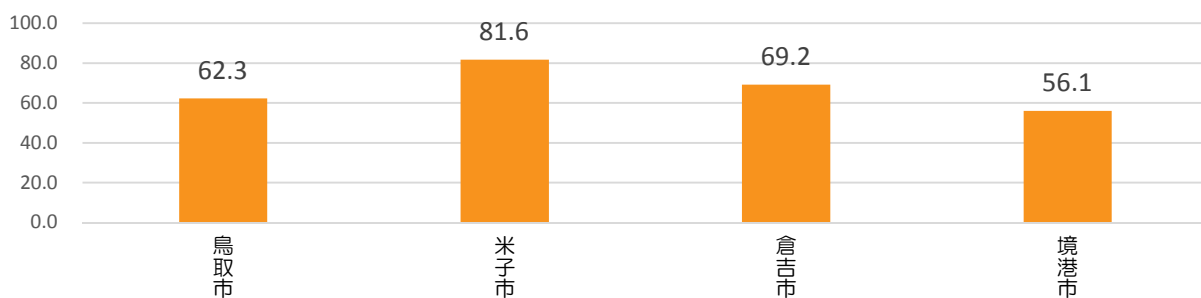
居住地域別 回答者構成比 (%) (N = 187)



### 居住地域別回答者数

	鳥取市								米子市					倉吉市		境港市	無回答	合計
	久松地区	醇風地区	遷喬地区	日進地区	明德地区	中ノ郷地区	末恒地区	若葉台地区	啓成地区	明道地区	就将地区	義方地区	永江地区	成徳地区	明倫地区	境地区		
回答数(人)	16	20	15	9	7	6	11	7	8	7	11	8	6	15	12	23	6	187
割合 (%)	8.6	10.7	8.0	4.8	3.7	3.2	5.9	3.7	4.3	3.7	5.9	4.3	3.2	8.0	6.4	12.3	3.2	100.0
	48.7								21.4					14.4		12.3	3.2	100.0

居住地域別 回答率 (%) (N = 187)

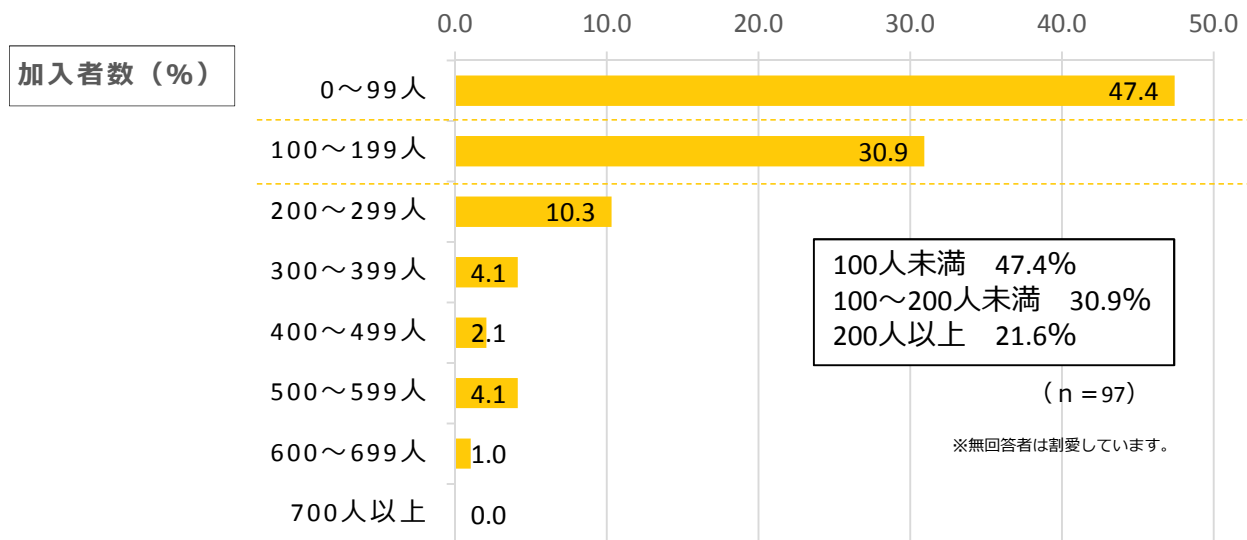
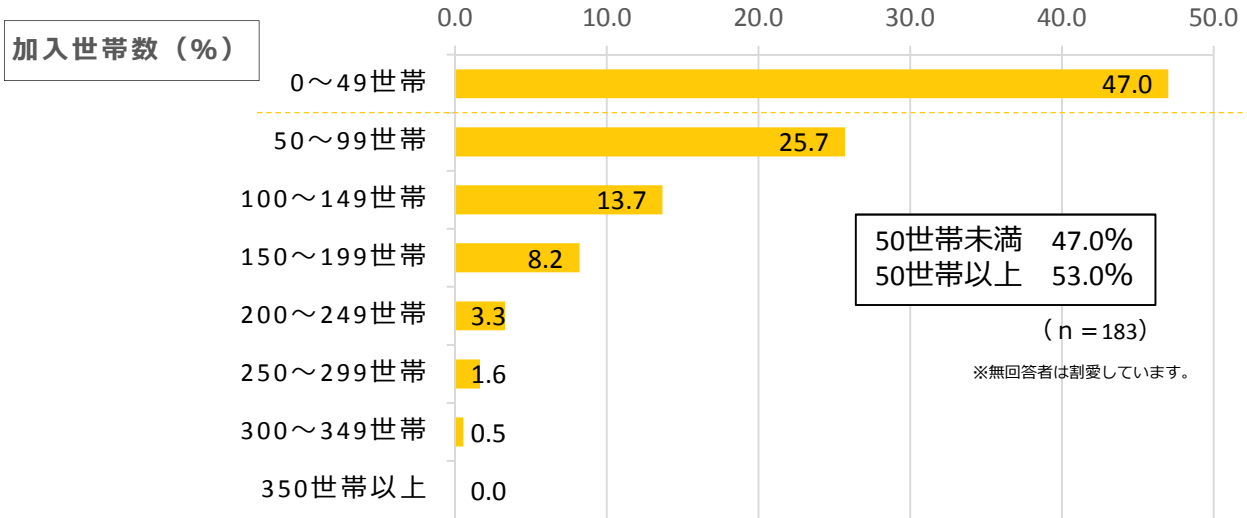


### 居住地域別回答率

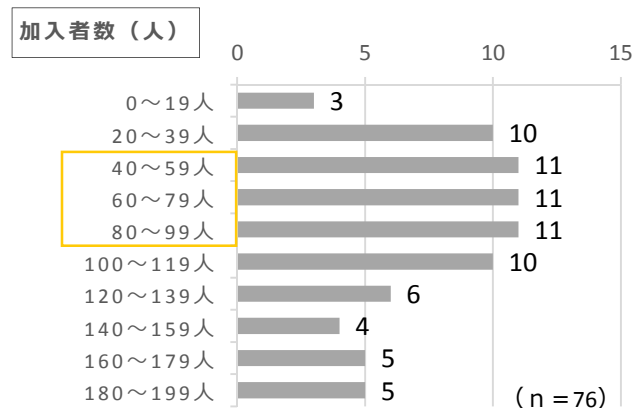
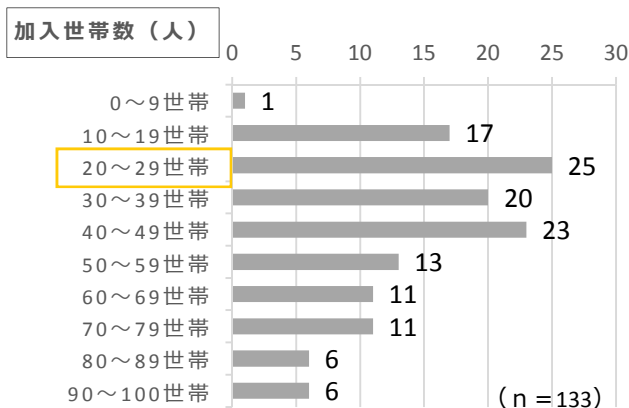
	鳥取市								米子市					倉吉市		境港市	無回答	合計
	久松地区	醇風地区	遷喬地区	日進地区	明德地区	中ノ郷地区	末恒地区	若葉台地区	啓成地区	明道地区	就将地区	義方地区	永江地区	成徳地区	明倫地区	境地区		
配布数(件)	20	41	26	16	10	8	16	9	8	8	15	10	8	23	16	41	—	275
回答数(人)	16	20	15	9	7	6	11	7	8	7	11	8	6	15	12	23	6	187
回答率 (%)	80.0	48.8	57.7	56.3	70.0	75.0	68.8	77.8	100.0	87.5	73.3	80.0	75.0	65.2	75.0	56.1	—	68.0
	62.3								81.6					69.2		56.1	—	68.0

# 1、自治会（町内会）の状況

## 1-1）自治会（町内会）の加入世帯数、加入者数

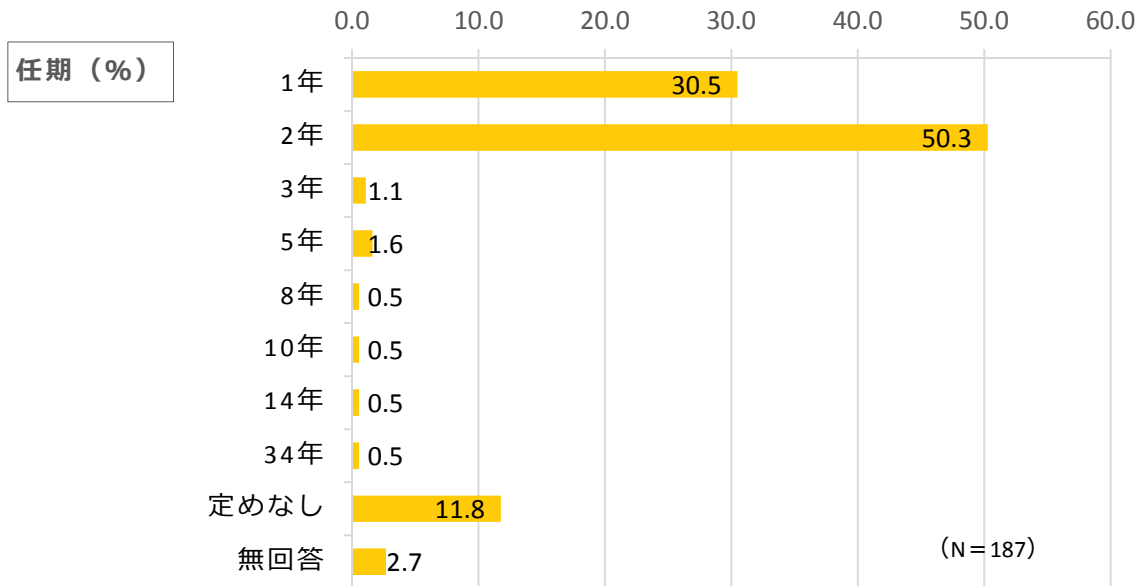


※加入世帯数100世帯未満、加入者数200人未満の自治会（町内会）の内訳

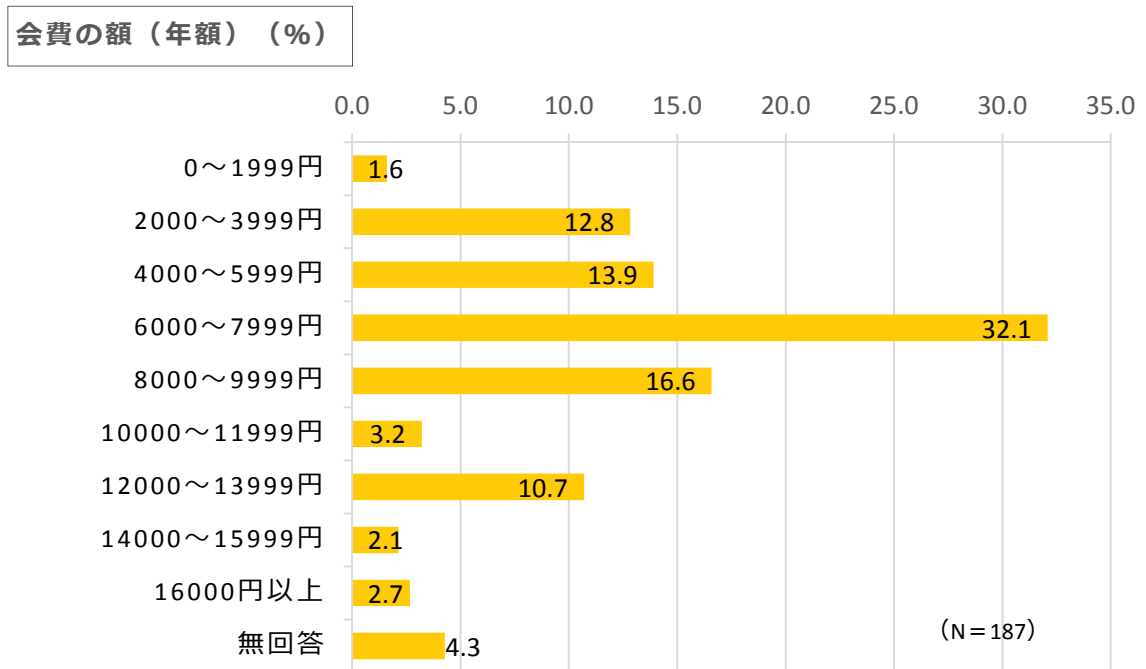


加入世帯数は20～29世帯が最も多く、加入者数は40～99人が最も多い。

→自治会長（町内会）の任期【H29新規】

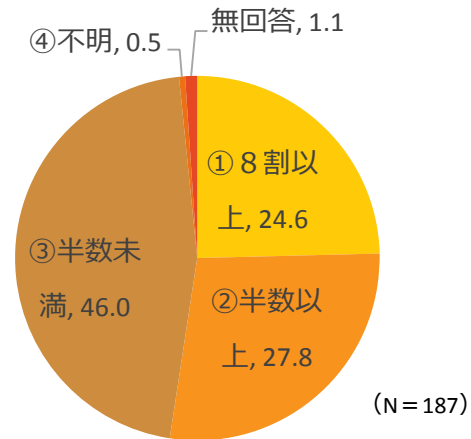


→自治会費（町内会費）の額【H29新規】



1-2) 自治会（町内会）総会への参加割合

総会への参加 (%)



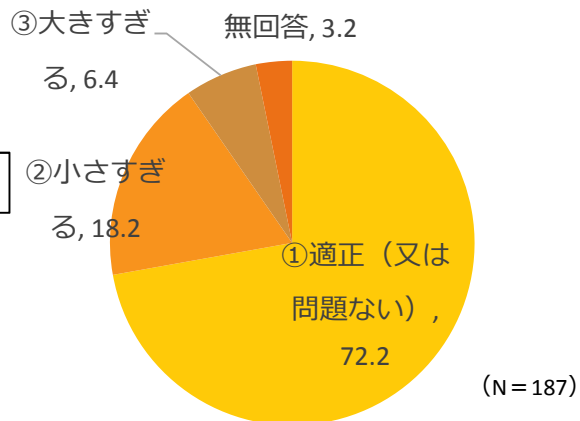
総会への参加/居住エリア (%)

	鳥取市			米子市			倉吉市	境港市	無回答	割合 (%)		
	中心	中活	郊外	中心	中活	郊外	中心	中心				
① 8割以上	26.4	19.4	21.6	45.8	32.5	29.4	29.4	50.0	22.2	13.0	0.0	24.6
② 半数以上	29.7	31.3	32.4	25.0	17.5	17.6	17.6	16.7	33.3	34.8	16.7	27.8
③ 半数未満	44.0	49.3	45.9	29.2	45.0	47.1	47.1	33.3	44.4	47.8	83.3	46.0
④ 不明	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	2.9	2.9	0.0	0.0	4.3	0.0	1.1
合計	48.7	35.8	19.8	12.8	21.4	18.2	18.2	3.2	14.4	12.3	3.2	100.0

「半数未満」が46.0%と最も多い。  
居住エリア別でみると、鳥取市及び米子市の「郊外」は、「8割以上」と回答した割合が平均値を上回っている。

1-3) 自治会（町内会）規模は、運営上適正規模か

規模 (%)



自治会（町内会）の規模/居住エリア (%)

	鳥取市			米子市			倉吉市	境港市	無回答	割合 (%)		
	中心	中活	郊外	中心	中活	郊外	中心	中心				
① 適正 (又は問題ない)	75.8	73.1	81.1	83.3	75.0	73.5	73.5	83.3	70.4	60.9	50.0	72.2
② 小さすぎる	13.2	17.9	13.5	0.0	17.5	20.6	20.6	0.0	22.2	26.1	50.0	18.2
③ 大きすぎる	6.6	6.0	5.4	8.3	2.5	0.0	0.0	16.7	7.4	13.0	0.0	6.4
無回答	4.4	3.0	0.0	8.3	5.0	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2
合計	48.7	35.8	19.8	12.8	21.4	18.2	18.2	3.2	14.4	12.3	3.2	100.0

約7割の自治会（町内会）において、現状の規模が「適正（問題ない）」と感じている。

→自治会（町内会）規模で「②小さすぎる」「③大きすぎる」と回答された方で、今の規模となった理由（自由記述）

「②小さすぎる」と回答された方の主な意見

- 他地域への転出。独居老人の増加。
- 高齢化による自然減。後継者の流出。
- 少子高齢化。
- 他地区への転出による世帯数の減少。
- 駅前の区画整理による移転。ほか

「③大きすぎる」と回答された方の主な意見

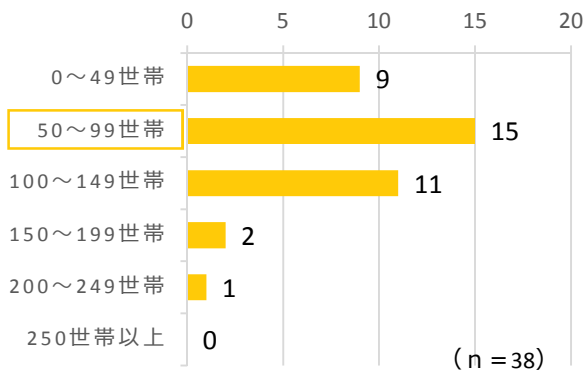
- 合併
- 畑が住宅地になり、新しい人が（世帯）増えた。
- 元々大きいエリアと住民数である。
- 市営住宅全体となっているから。
- 行政上の区切りでスタートしているから。ほか

→今の規模で、運営上での問題点（自由記述）

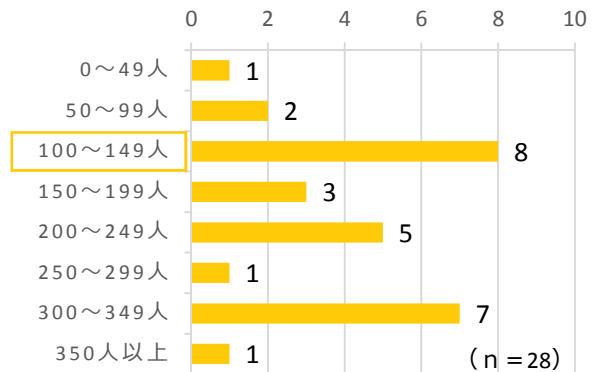
- 自治会長になる人がいない。大きくなればなおさらではないでしょうか。
- ①区費収入が少ないので活動が低調になる。②役員構成が難しい。③行動できる活動が難しい。
- 自治会運営のための人員不足。
- 町内会費を簡単に値上げはできない上に、公的な支払いは徐々に上がり、本来の町内事業に十分な予算が立てられない。
- 参加世帯の減少のため、行事等が行えない。
- 世帯数が多いため、各世帯構成員の方々が他力依存になる傾向が見え、参加や協力の意識が希薄化している。ほか

→自治会（町内会）の適正だとおもう規模

適正世帯数（人）



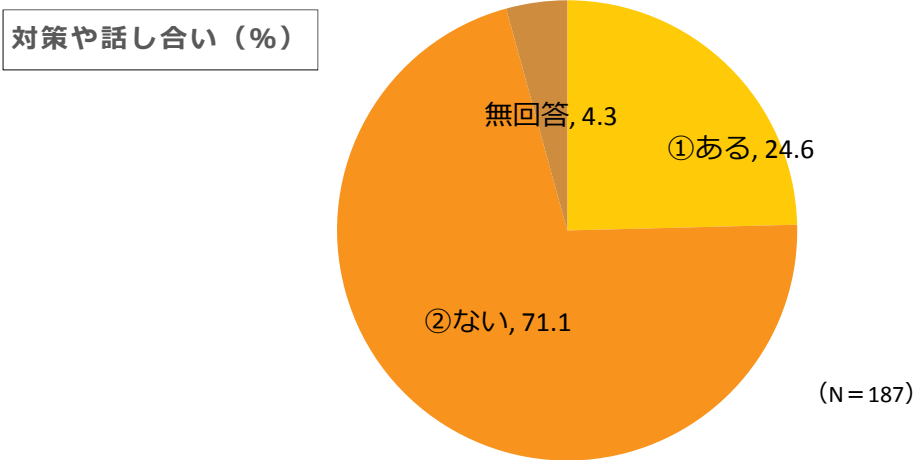
適正加入者数（人）



実際の世帯数は「0～49世帯」が47.0%と最も多かったのに対し、適正だと思う規模では、「50～99世帯」が最も多くなっている。また、加入者数も、現状は「0～99人」が47.4%と最も多いのに対し、適正だと考えるのは「100～149人」となっている。



→自治会（町内会）との間で共同化することについての対策や話し合い



共同化への対策や話し合い／居住エリア（％）

	鳥取市			米子市			倉吉市	境港市	無回答	割合 (%)		
	中心	中活	郊外	中心	中活	郊外	中心	中心				
①ある	20.9	22.4	18.9	16.7	30.0	35.3	35.3	0.0	25.9	30.4	16.7	24.6
②ない	74.7	71.6	73.0	83.3	65.0	61.8	61.8	83.3	66.7	69.6	83.3	71.1
無回答	4.4	6.0	8.1	0.0	5.0	2.9	2.9	16.7	7.4	0.0	0.0	4.3
合計	48.7	35.8	19.8	12.8	21.4	18.2	18.2	3.2	14.4	12.3	3.2	100.0

約7割の、自治会（町内会）が「ない」と回答した。  
居住エリア別で見ると、郊外において「ない」の割合が多くなっている。

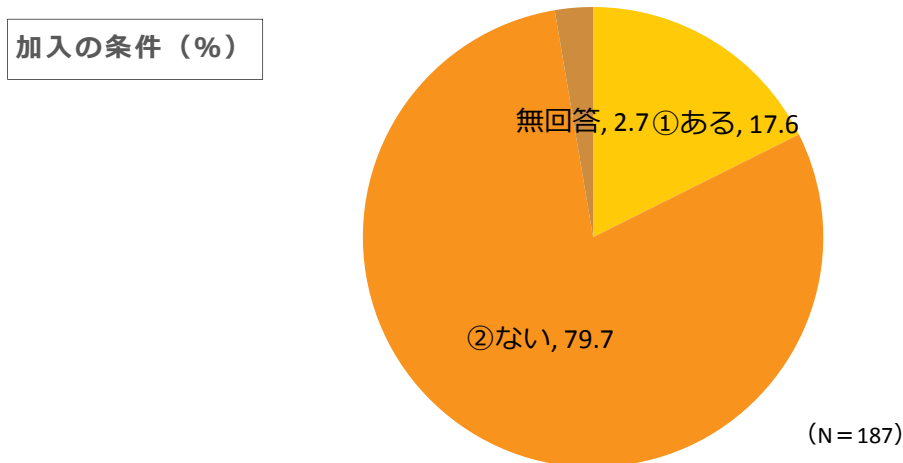
「①ある」と回答された方の具体的な内容

- 防災訓練の共同運営。
- 自主防災会を他町内と共同開催している。
- 民生児童委員の選出を、隣接する他自治会と共同で（2自治会で1名）実施。
- 自治公民館役員及び民生児童委員等の選任についての共同化。
- 校区町内会で定期的に会を持ち、連携を図っている。（防災、イベント等）
- 自治会で行う事と各町内会での事業を、常に調整しながら進めている。
- 少子化に伴い、町内の子ども会を一つにし、各種の行事に合同で参加。
- ①子ども会は合同で行っている。②公民館のスポーツ大会は他町と合同でチーム編成したいが、実現していない。③古紙ステーションは他町にも利用されている。（ほか）

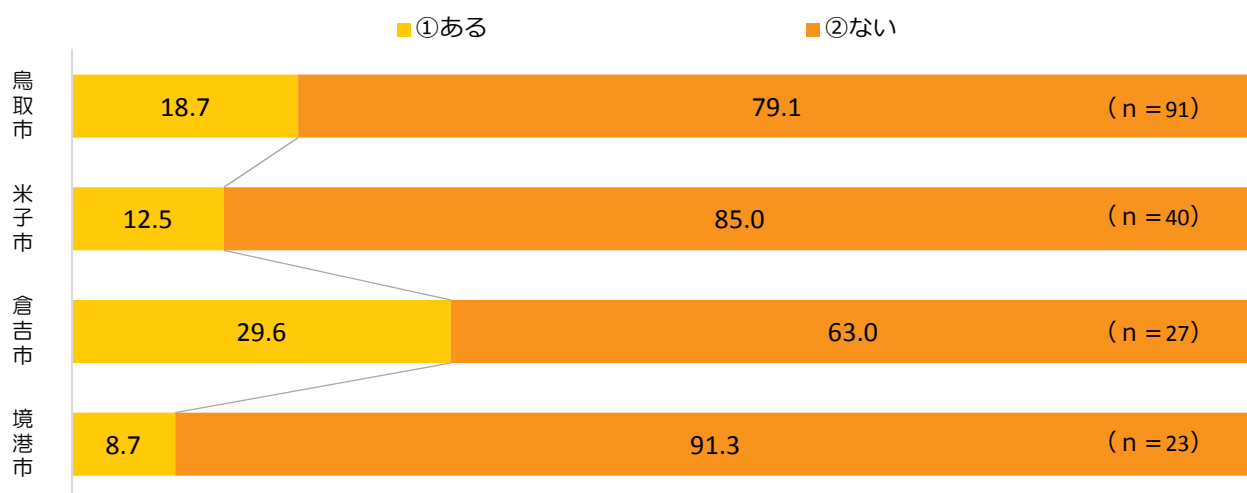
**1-4) 住民の方からの、自治会（町内会）運営に関する意見・提案等（自由記述）**

- 全体的に高齢化が進行している為、福祉面での不安があるようです。
- 独り暮らしの高齢者より、自治会費負担の軽減の提案があった。
- マンション管理組合からの入会の呼びかけ。
- 地区公民館の行事が多すぎる
- 防災対策の充実。除雪対策。
- 道路の安全対策。ゴミ出し。ふれあい事業への提案、要望。
- 町内会で自主防災組織を立ち上げて欲しい。
- 高齢化率72%のため、町内のいろいろな活動（側溝清掃等）が出来ない。
- 役員の仕事が多すぎる。配布物が多すぎる。
- 役員を引き受ける人がいないので、合併してはどうかという意見もある。しかし把握するのに、合併すると人数が多すぎて難しい。
- 高齢者組織（老人クラブ等）に対する事業費用の増加。
- 「自治公民館」という組織がこのまま高齢化が進めば、いつまで継続できるかわからない。
- 1町内1町内、会館があればいい。
- 自治会を8班編成とし運営しているが、班ごとの加入世帯にムラがあり、班編成についての検討。
- ①町内会交流を活発にして楽しい会を増やして欲しい。②町内会は消極的にして、自分のことを大切に考えれば良い（一部）。の二通り。
- 自治会員同士の親睦を持つ機会を増やすことはできないのか。
- ①ゴミ置き場の整備②倉庫の補修③高齢化による冬場の除雪。
- ①防災活動の強化。②文化、親睦活動の振興。
- 防犯灯の設置。消火器の取り換え。ノラ猫の問題。
- 空き家が増えてきており、町内会費等の集金が困難。60歳以上の方で、仲良し会（老人会）を構成しているが、施設に入っている方もあり、入会を強制しなくてもよいのでは。
- 自治会の活動を会員に知らせる努力が必要。（定期的なお知らせ等）規模を縮小すべきである。
- 各班長の負担が多い。（各講習等に参加する機会が多いように感じます。）
- 小、中学校の先生方と町内・地域内との関わりの機会があってもよいのではないかと。（先生方の増員、ワークシェアにより、負担軽減をはかりながら。）
- 会員同士の交流の場がほしい。
- ①ゴミの収集について。②班の変更について。

1-5) 町内会加入の条件【H29新規】



居住地域別 加入条件 (%) 全体 (N = 181)



※無回答者は割愛しています。

「ある」と回答した自治会（町内会）は17.6%であった。  
居住地域別にみると、倉吉市において「ある」と回答した割合が3割と、他エリアに比べ高くなっている。

「①ある」と回答された方の具体的な内容

- 自治会費を納めていただく事。
- 町内に転入される方があればどなたでも加入大歓迎です。あるとすれば加入が条件です。
- 子ども会加入と同時加入をお願いしている。
- 規約、規則を守っていただく事。
- 地区のすべての活動に参加可能である事。
- 入館費の徴収。
- 新規住宅に転居してきた場合は、集会所の建設負担金を納めて頂いている。（ほか

## 1-6) 自治会（町内会）活動として必要な活動、不必要だと考える活動（自由記述） 【H29新規】

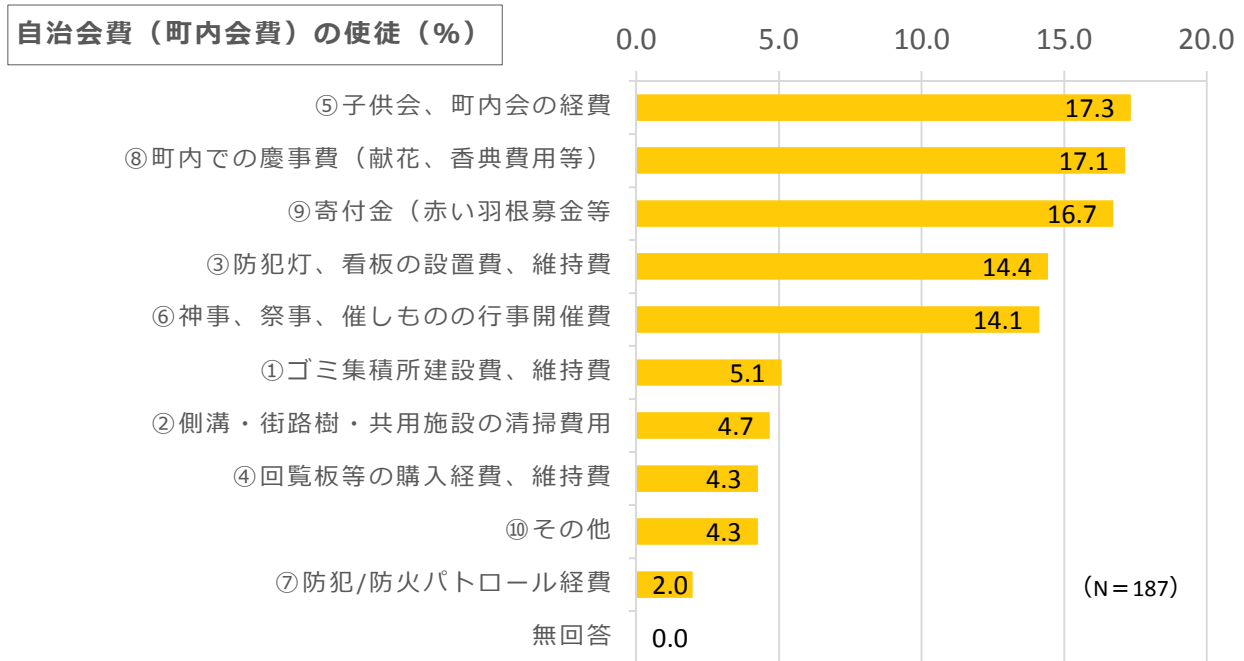
### 「必要だと考える活動」

- 防災活動、清掃活動、町内としての文化活動。
- 災害対応、高齢化対応、コミュニティー活動。
- 行事開催（町内住民参加）の連絡。
- 福祉活動、ゴミ当番等。
- 防災訓練、敬老会、歳末警戒、納涼祭。 ほか

### 「不必要だと考える活動」

- 特になし（不必要な活動はやっていない）
- 募金
- 地区のスポーツ競技が多すぎる。地区運動会と小学校の運動会を一緒にすべき。（高齢者が多くなってきて参加が少ない。）
- 各種団体等の負担金の集金作業。行政がすべき。
- 自治体や行政の、単に下請け的な活動。
- 敬老の日のおくりもの
- 公民館活動が多すぎる。（役員の選出） ほか

1-7) 自治会費（町内会費）の使途（いくつでも）【H29新規】



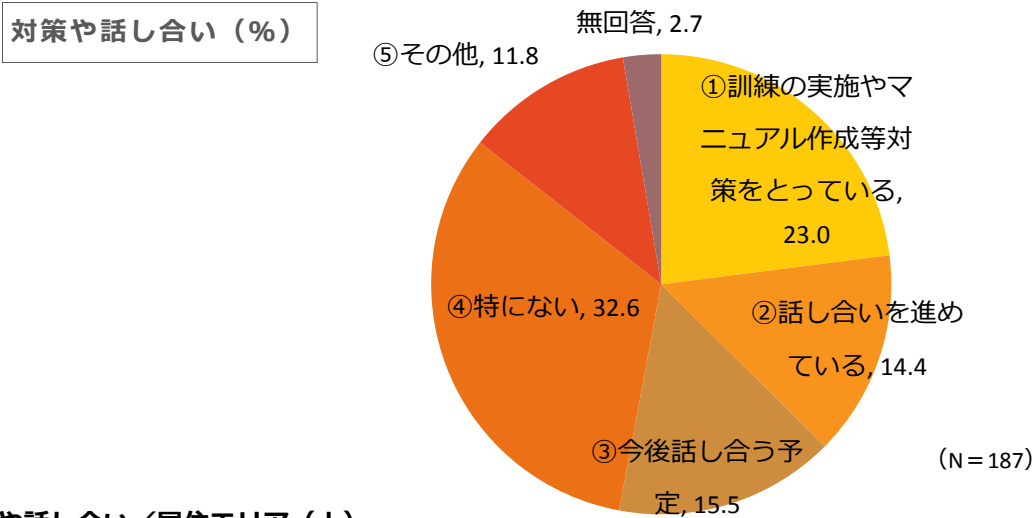
自治会費（町内会費）の使徒/居住エリア (%)

	鳥取市				米子市				倉吉市	境港市	無回答	割合 (%)
	中心	中活	郊外	中心	中活	郊外	中心	中心				
① ゴミ集積所建設費、維持費	3.7	2.1	2.6	8.3	6.9	7.5	7.5	3.4	5.5	5.9	8.1	5.1
② 側溝・街路樹・共用施設の清掃費用	3.7	2.4	1.0	7.4	5.0	5.2	5.2	3.4	7.3	3.9	5.4	4.7
③ 防犯灯、看板の設置費、維持費	16.6	17.5	17.8	14.0	14.9	14.5	14.5	17.2	15.2	4.9	8.1	14.4
④ 回覧板等の購入経費、維持費	4.8	4.2	3.7	6.6	3.5	3.5	3.5	3.4	4.3	2.9	5.4	4.3
⑤ 子供会、町内会の経費	17.2	17.2	17.3	17.4	17.3	17.3	17.3	17.2	15.2	21.6	16.2	17.3
⑥ 神事、祭事、催しものの行事開催費	14.8	15.1	15.7	14.0	11.9	12.1	12.1	10.3	15.9	11.8	16.2	14.1
⑦ 防犯/防火パトロール経費	2.2	2.4	3.7	1.7	2.5	1.7	1.7	6.9	1.2	2.0	0.0	2.0
⑧ 町内での慶事費（献花、香典費用等）	17.0	18.4	17.3	13.2	16.8	16.8	16.8	17.2	15.9	21.6	13.5	17.1
⑨ 寄付金（赤い羽根募金等）	15.9	17.5	17.3	11.6	16.8	17.3	17.3	13.8	15.9	21.6	16.2	16.7
⑩ その他	3.9	3.3	3.7	5.8	4.5	4.0	4.0	6.9	3.7	3.9	10.8	4.3
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	47.6	35.0	19.8	12.6	21.0	18.0	18.0	3.0	17.0	10.6	3.8	100.0

「子供会、町内会の経費」が17.3%と最も多く、次いで「町内での慶事費」17.1%、「寄付金」が16.7%の順となった。  
 居住エリア別では、境港市において「子供会、町内会の経費」及び「寄付金」が平均値を上回り、他エリアより多くなっている。

## 2、くらしの安心

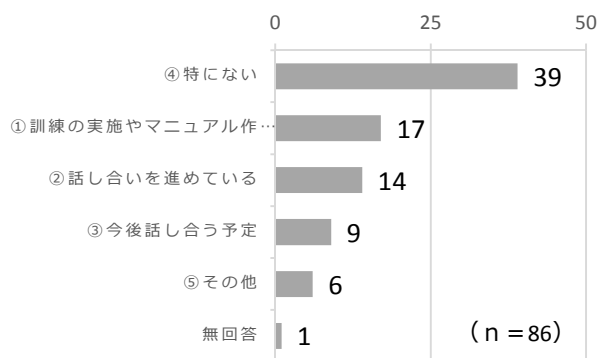
### 2-1) 地震・火災・大雪等の災害を想定した、自治会（町内会）における対策や話し合い



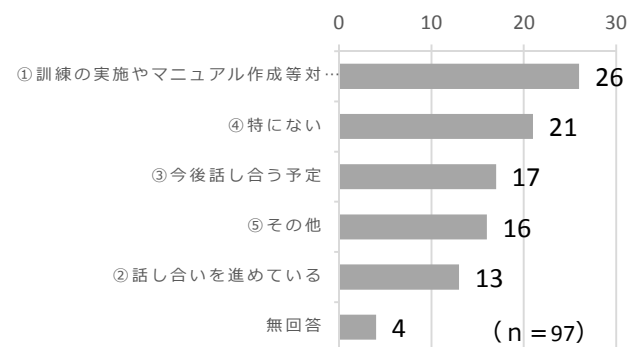
対策や話し合い／居住エリア (人)

	鳥取市				米子市			倉吉市	境港市	無回答	回答数 (人)	割合 (%)	
	中心	中活	郊外		中心	中活	郊外	中心	中心				
①訓練の実施やマニュアル作成等対策をとっている	32	23	15	9	4	3	3	1	5	2	0	43	23.0
②話し合いを進めている	15	11	5	4	5	4	4	1	4	2	1	27	14.4
③今後話し合う予定	9	5	3	4	8	6	6	2	8	4	0	29	15.5
④特にない	22	17	9	5	14	14	14	0	7	14	4	61	32.6
⑤その他	11	10	5	1	6	4	4	2	3	1	1	22	11.8
無回答	2	1	0	1	3	3	3	0	0	0	0	5	2.7
合計	91	67	37	24	40	34	34	6	27	23	6	187	100.0

対策・話し合い ※50世帯未満 (人)



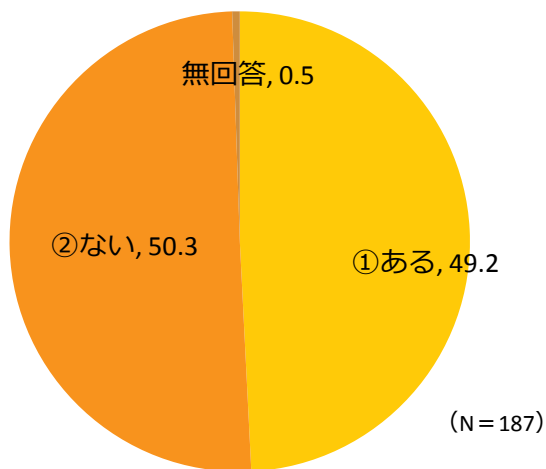
対策・話し合い ※50世帯以上 (人)



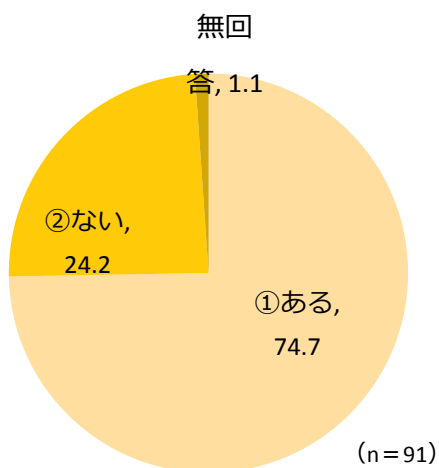
「特にない」が32.6%と最も多く、次いで、「訓練の実施やマニュアル作成等対策をとっている」が23.0%となった。  
 世帯数別でみると、50世帯未満は「特にない」が最も多く、50世帯以上では、「訓練の実施やマニュアル作成等対策をとっている」が最も多い。

2-2) 自治会（町内会）における自主防災組織の結成の有無【H29新規】

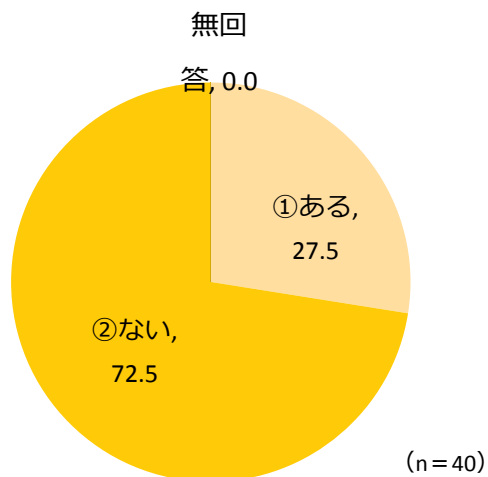
自主防災組織の有無（％）



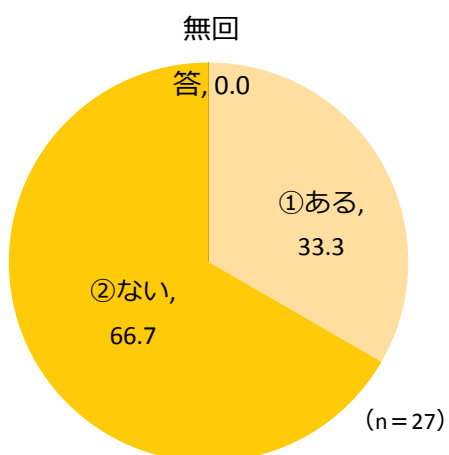
鳥取市（％）



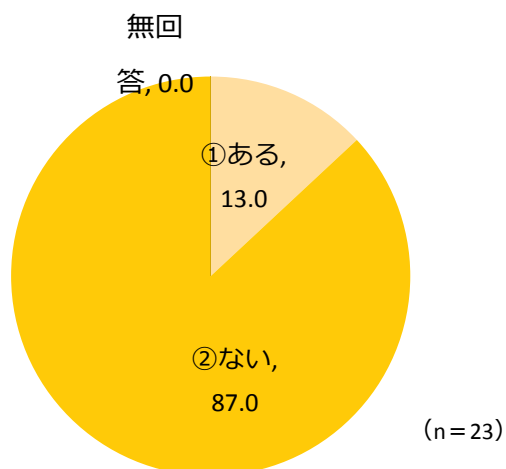
米子市（％）



倉吉市（％）

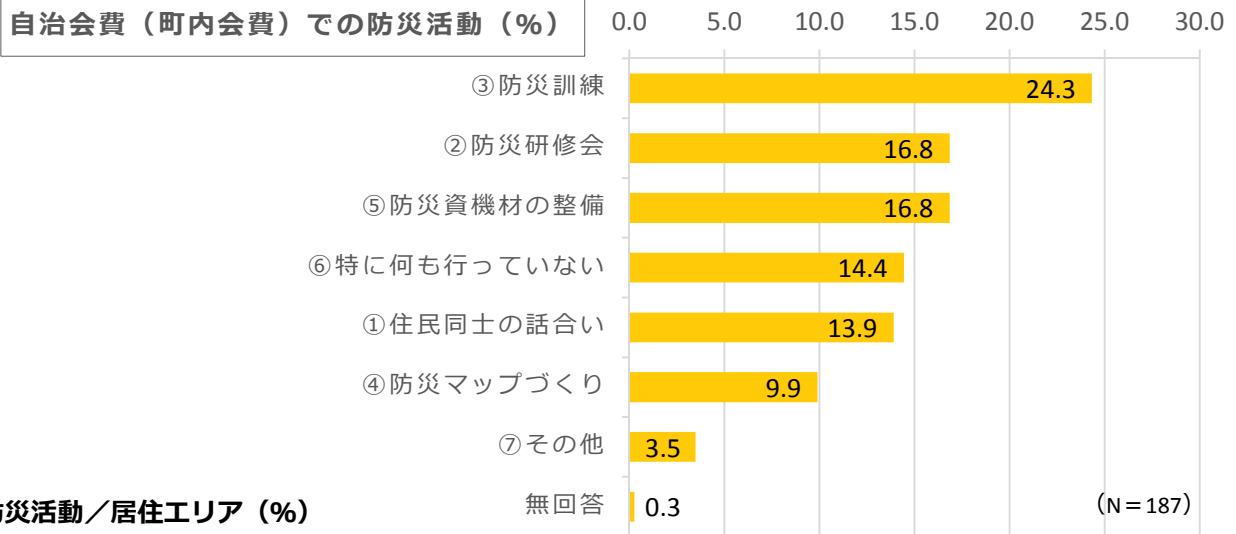


境港市（％）



「ない」が50.3%と、約5割の自治会（町内会）で自主防災組織の結成が「ない」となった。居住エリア別で見ると、鳥取市は「ある」が約7割と、他エリアに比べ平均値を大きく上回っている。また、境港市では「ない」が約9割となっており、他エリアに比べ「ない」の割合が多い。

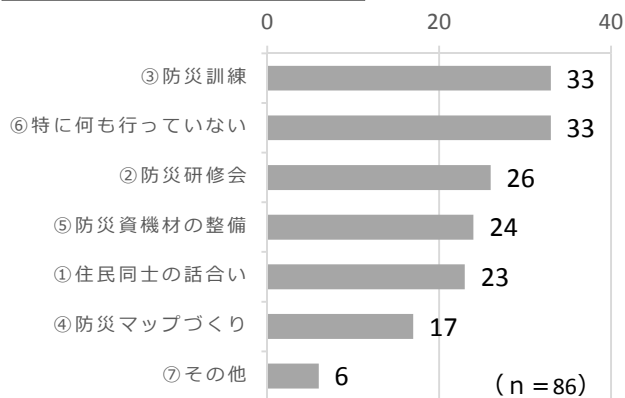
2-3) 自治会（町内会）での防災活動（いくつでも）【H29新規】



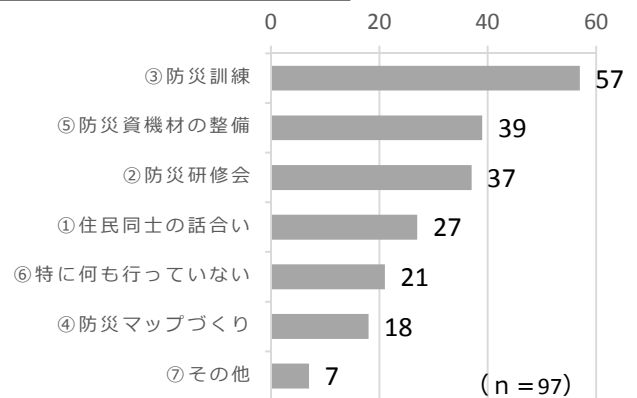
防災活動／居住エリア (%)

	鳥取市			米子市			倉吉市	境港市	無回答	割合 (%)		
	中心	中活	郊外	中心	中活	郊外	中心	中心				
① 住民同士の話し合い	10.8	9.7	10.8	13.8	8.5	8.3	8.3	9.1	25.0	19.4	28.6	13.9
② 防災研修会	19.2	20.6	19.4	15.5	11.9	12.5	12.5	9.1	17.2	9.7	14.3	16.8
③ 防災訓練	33.3	32.3	31.2	36.2	11.9	8.3	8.3	27.3	15.6	9.7	0.0	24.3
④ 防災マップづくり	9.9	9.7	10.8	10.3	8.5	10.4	10.4	0.0	17.2	0.0	0.0	9.9
⑤ 防災資機材の整備	20.2	20.0	21.5	20.7	16.9	14.6	14.6	27.3	10.9	9.7	0.0	16.8
⑥ 特に何も行っていない	3.8	4.5	3.2	1.7	35.6	37.5	37.5	27.3	12.5	41.9	57.1	14.4
⑦ その他	2.8	3.2	3.2	1.7	5.1	6.3	6.3	0.0	1.6	9.7	0.0	3.5
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	2.1	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
合計	57.0	41.4	24.9	15.5	15.8	12.8	12.8	2.9	17.1	8.3	1.9	100.0

防災活動 ※50世帯未満（人）



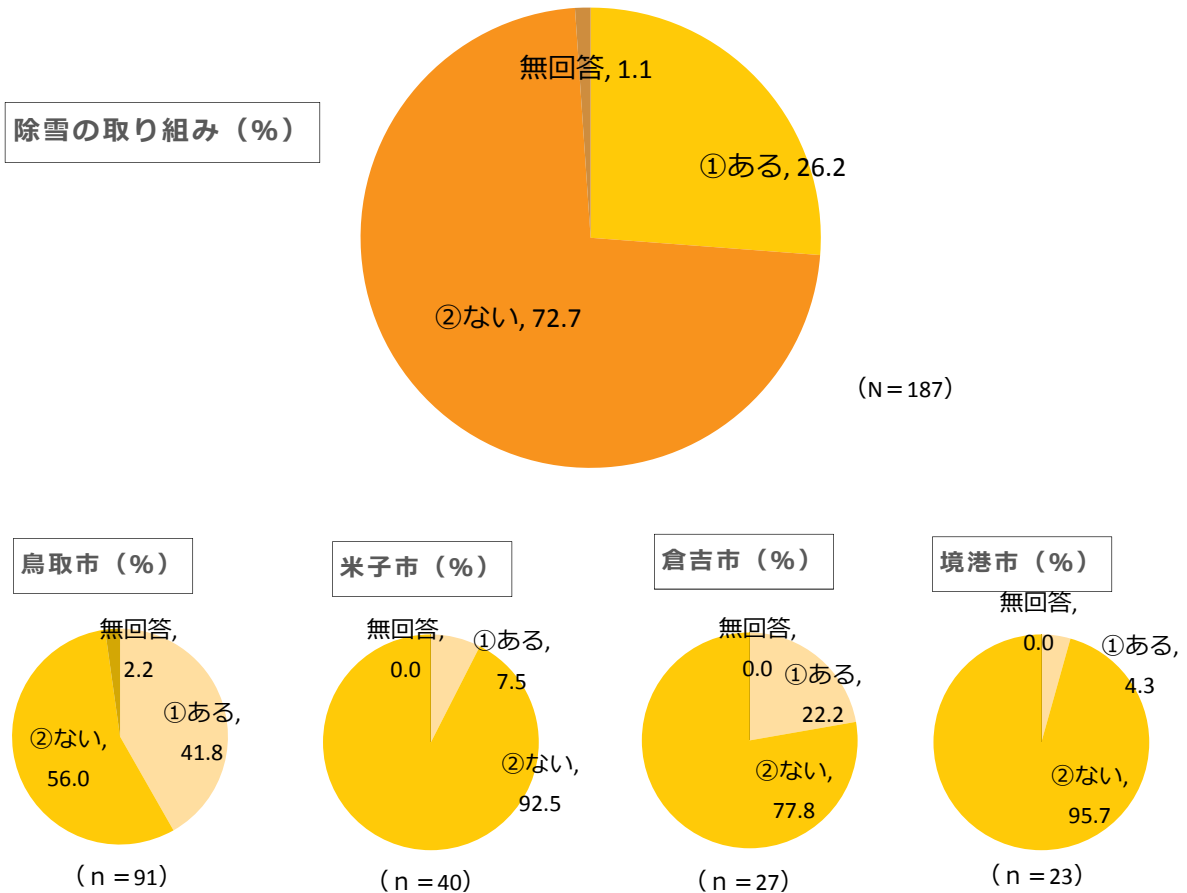
防災活動 ※50世帯以上（人）



「防災訓練」が24.3%と最も多い。次いで、「防災研修会」、「防災資機材の整備」が16.8%の順となっている。  
 居住エリア別に見ると、米子市及び境港市において「特に何も行っていない」の割合が多い。  
 また、世帯数別にみると、50世帯未満は「特に何も行っていない」の割合が多い。



2-4) 自治会（町内会）で行っている除雪の取組の有無【H29新規】



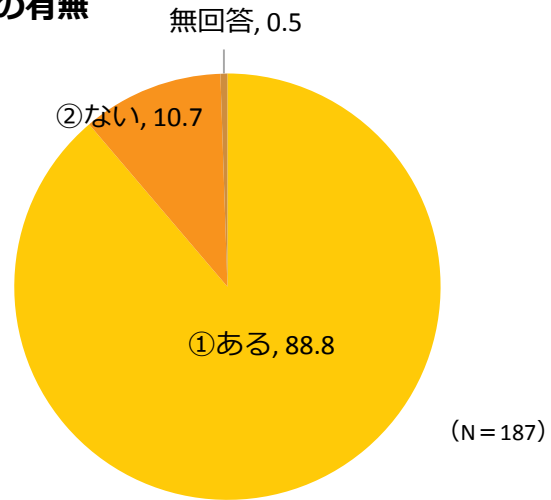
約7割（72.7%）の自治会（町内会）で除雪の取り組みが行われていない。  
 居住地エリア別にみると、米子市及び境港市は「ない」の割合が高くなっている。  
 また、鳥取市は「ある」が他エリアに比べ多く、平均値を大きく上回っている。

今後あればよいと思う取り組み

- 町内には市の除雪車が入らないが、例えば中型車等の配備で各町内会の道路の除雪をお願いしたい。
- 市道、県道の主要道路の早期除雪。除雪機の貸与。
- 市から除雪機の斡旋。
- 除雪機を入手して共同で除雪したい。除雪機の購入（借入れ）。
- 豪雪時による除雪の運搬（公費の捻出）。除雪機等の借上げ等。
- 高齢者にとって道路までの除雪は不可能。出来れば他力（ボランティアとか行政とか）を期待する。
- 独居老人宅の除雪。
- 町内市道等、民間委託をしてほしい。
- 行政による除雪。自治会内の市道は除雪対象となっていないが、老人が多く、除雪が進まず非常に困った。
- 行政の除雪が間に合わない場合、町内の建築業者さんへ依頼し、後で行政が費用を補てんするシステム。
- 若桜橋のような融雪装置。
- 除雪対応可能業者との中期契約（積立金等により） ほか

2-5) 自治会（町内会）区域での空き家の有無

空き家の有無 (%)



空き家の有無/居住エリア (%)

	鳥取市			米子市			倉吉市	境港市	無回答	割合 (%)		
	中心	中活	郊外	中心	中活	郊外	中心	中心				
①ある	86.8	89.6	86.5	79.2	92.5	91.2	91.2	100.0	96.3	91.3	50.0	88.8
②ない	13.2	10.4	13.5	20.8	5.0	5.9	5.9	0.0	3.7	8.7	50.0	10.7
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
合計	48.7	35.8	19.8	12.8	21.4	18.2	18.2	3.2	14.4	12.3	3.2	100.0

空き家が「ある」と約9割が回答した。  
 居住エリア別にみると、米子市及び倉吉市において、空き家が「ない」の割合が少ない。逆に、鳥取市では平均値を上回り「ない」の割合が多くなっている。

→ 空き家の現在の状況（いくつでも）（問2-5 空き家が「①ある」の場合）

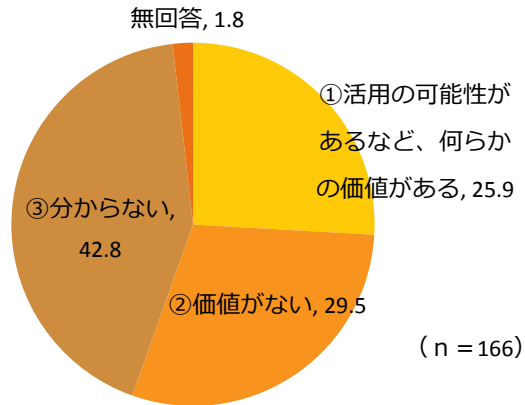
空き家の状況 (%)



「所有者又はその家族が分かる」が40.3%と最も多くなっている。  
 「所有者や空き家の理由などが全く不明」の空き家は約1割となった。

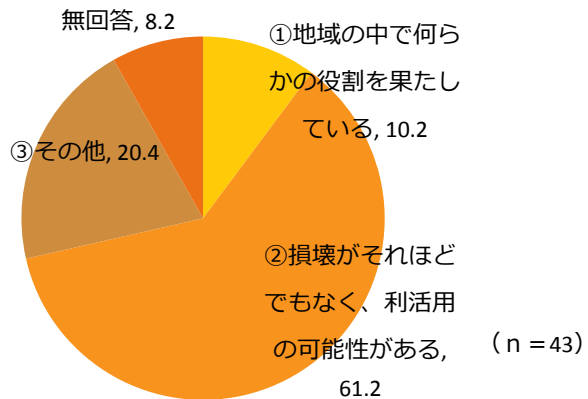
→空き家に対する自治会（町内会）としての評価（問2-5 空き家が「①ある」の場合）

空き家の評価（%）



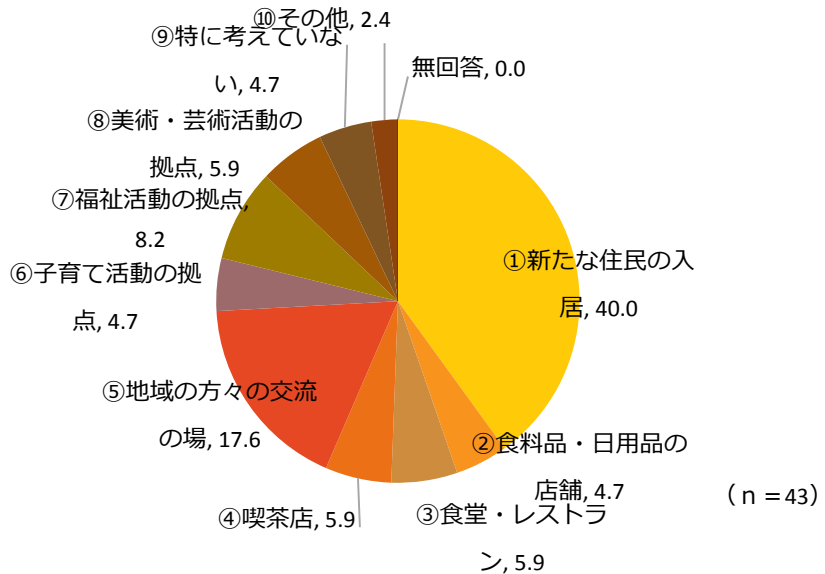
→評価が「①活用の可能性があるなど、何らかの価値がある」の場合の理由（いくつでも）

価値がある理由（%）



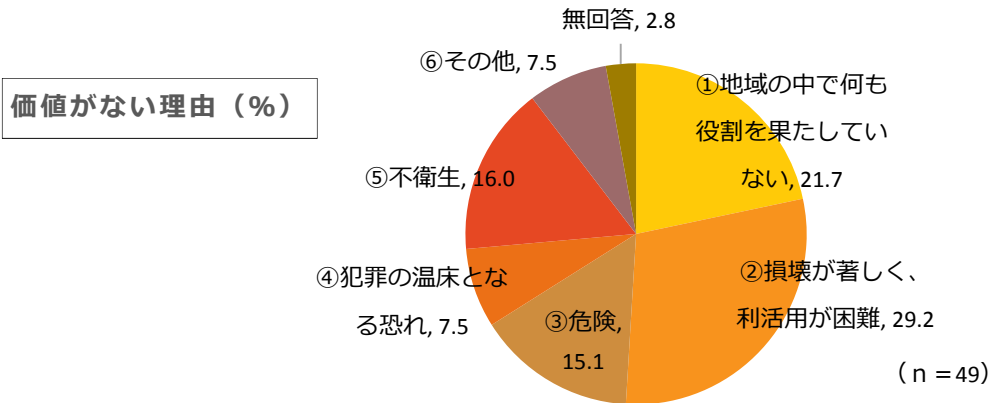
→空き家を建物として活用する場合の活用方法（いくつでも）（評価が「①活用の可能性があるなど、何らかの価値がある」の場合）

活用方法（%）

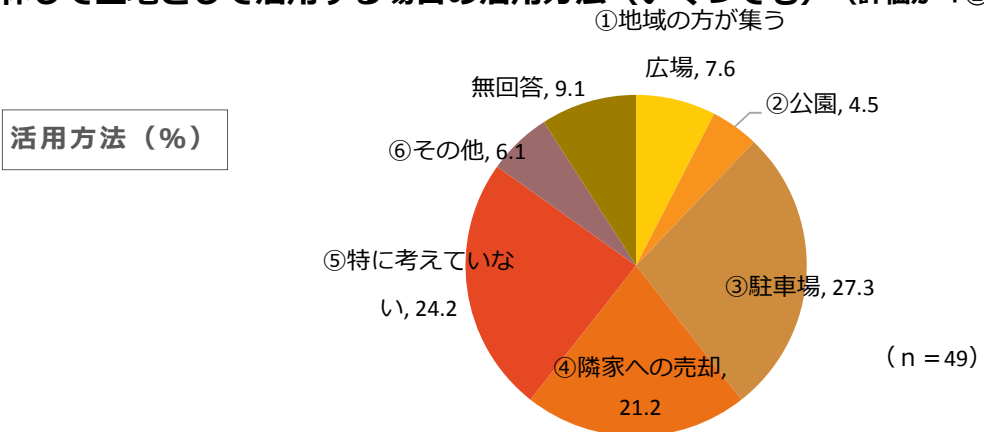


空き家に対する評価は「分からない」が42.8%と最も多く、次いで「価値がない」が29.5%の順となった。価値がある場合の理由の回答として「地域の中で何らかの役割を果たしている」は約1割となり、約6割は利活用の可能性があると回答している。また、考えられる活用方法としては、「新たな住民の同居」が40.0%と最も多くなった。

→空き家に対する自治会（町内会）としての評価が「②価値がない」の場合の理由（いくつでも）



→空き家を解体して土地として活用する場合の活用方法（いくつでも）（評価が「②価値がない」の場合）

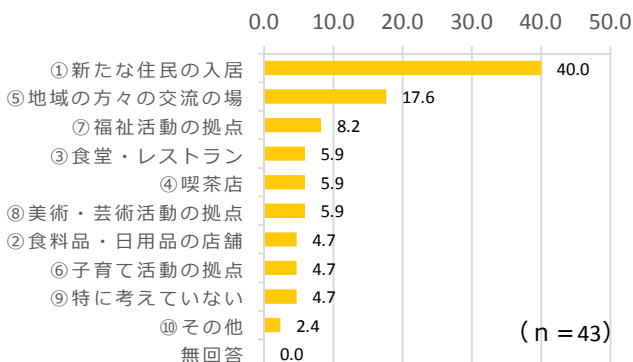


空き家が価値がない理由として「損壊が著しく、利活用が困難」が29.2%と最も多く、次いで「地域の中で何も役割を果たしていない」が21.7%の順となっている。活用法としては、「駐車場」が27.3%と最も多く、次いで「特に考えていない」が24.2%となった。

（参考）空き家に対する自治会（町内会）としての評価が「①活用の可能性があるなど、何らかの価値がある」と「②価値がない」の場合の、活用方法の比較

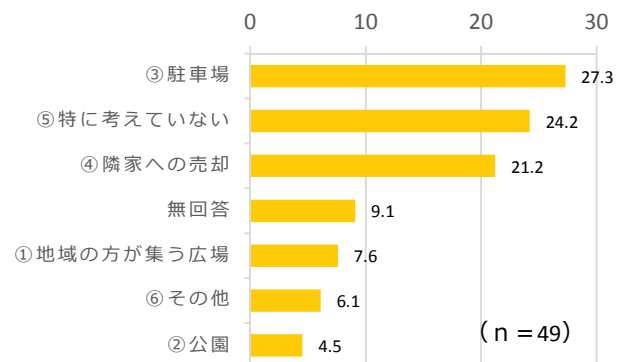
活用方法※「①何らかの価値がある」（％）

（再掲）



活用方法※「②価値がない」（％）

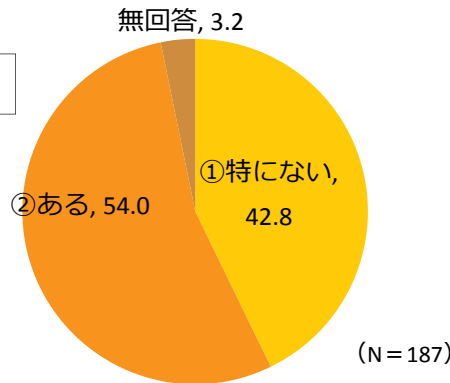
（再掲）



空き家に価値があると回答した場合の活用方法は、住居、交流の場等の人が利用（交流）する活用方法が良いという考えが多い。一方、価値がないと回答した場合の活用方法は、駐車場、隣家への売却など、交流の場ではない活用方法が多くなっている。

2-6) 民生委員等福祉関係役員の選出の困難【H29新規】

役員選出の困難（％）



役員選出の困難／居住エリア（％）

	鳥取市			米子市			倉吉市	境港市	無回答	割合 (%)		
	中心	中活	郊外	中心	中活	郊外	中心	中心				
①特にない	38.5	38.8	43.2	37.5	50.0	47.1	47.1	66.7	44.4	56.5	0.0	42.8
②ある	58.2	59.7	54.1	54.2	45.0	50.0	50.0	16.7	55.6	39.1	100.0	54.0
無回答	3.3	1.5	2.7	8.3	5.0	2.9	2.9	16.7	0.0	4.3	0.0	3.2
合計	48.7	35.8	19.8	12.8	21.4	18.2	18.2	3.2	14.4	12.3	3.2	100.0

約5割が役員の選出の困難が「ある」と回答している。  
居住エリア別でみると、米子市の郊外において「特にない」の割合が平均値を上回っている。

役員選出の困難：具体的な内容（自由記述）

- なり手が少ない。人員がいない（少ない）
- 複数の町内を1人で担当しなければならない精神的負担。高齢者は年々増加しているにも関わらず、役員の数が変わらない現状に違和感。
- 無報酬であること。（民生委員）行政からの仕事が年々増加している。従って従事者の確保ができない。
- 現在の役員の任期が長期化している。後任がみつからない。就労期間が長くなり、役員が高齢者に依存せざるを得ない。
- プライバシーの部分に係るため、精神的負担があり、受託してくださる方が少ない。

2-7) 地域福祉活動（見守り、交流サロン、地域防災など、自治会で行う福祉活動）を進める上で困ること（自由記述）【H29新規】

- 自治会で行うべきことなのか、自治体が主体なのか、個々の協力なのか。
- 個人情報保護も大切であるので、対象者の情報を近隣の方と共有できないことがあり、活動に支障がある。
- 個人情報の取り扱いがネックになる。個人主義、利己主義者（自分勝手）が多い。
- 集会所を借用しているが狭く不便（特にサロン活動）。
- 地域が高齢化しており、活動する人がいなくなってきている。
- 高齢者が多く、若い人が少ない。若い人の積極性に疑問。
- 若い方が仕事という理由で受けない。
- 大切なことだと皆さんがわかっても、いざとなると活動できる人が少ない。（傍観者が多い）
- 人材がいない。平均年齢が中部地区でも一番高齢化率が高いもので。何をやるにも、やることは考えもあるが、いざ計画に入る段階で先行きない。人材が一番です。ほか

### 3、生活環境（交通・店舗・医療）

#### 3-1）地域における、過去10年間の公共施設・サービス等の変化

##### ①事業所（企業、役所等）

	回答数(人)	割合(%)
-15~-11社・所	1	4.3
-10~-6社・所	1	4.3
-5~-1社・所	11	47.8
0~+4社・所	9	39.1
+5~+9社・所	0	0.0
+10社・所以上	1	4.3
合計	23	100.0

##### ②バス路線

	回答数(人)	割合(%)
変化なし	7	23.3
100円バスに関して	7	23.3
くる梨に関して	6	20.0
便数が減った(気がする)	5	16.7
コミュニティーバスを活用出来る	1	3.3
近くにバスの幹線があり便利	1	3.3
若桜行、若葉台行	1	3.3
鳥取駅⇄若葉台⇄若桜	1	3.3
利用者が減った	1	3.3
合計	30	100.0

##### ③スーパー

	回答数(人)	割合(%)
-2店舗以上	3	13.0
-1店舗	8	34.8
0店舗	6	26.1
+1店舗	3	13.0
+2店舗以上	3	13.0
合計	23	100.0

##### ④コンビニ

	回答数(人)	割合(%)
-1店舗	6	20.0
0店舗	7	23.3
1店舗	12	40.0
2店舗以上	5	16.7
合計	30	100.0

##### ⑤医療機関

	回答数(人)	割合(%)
-2医院以上	1	6.3
-1医院	2	12.5
0医院	7	43.8
+1医院	4	25.0
+2医院以上	2	12.5
合計	16	100.0

##### ⑥銀行

	回答数(人)	割合(%)
-2店舗以上	2	13.3
-1店舗	3	20.0
0店舗	7	46.7
+1店舗	3	20.0
+2店舗以上	0	0.0
合計	15	100.0

##### ⑦郵便局

	回答数(人)	割合(%)
-1局	0	0.0
0局	7	100.0
+1局	0	0.0
合計	7	100.0

##### ⑧その他

- ・特に変化なし
- ・介護施設(グループホーム含む)の増加。
- ・サービス付き高齢者向け住宅、2施設。
- ・郵便ポストの集荷が1日2回から、1日1回となりました。
- ・何も無くなった。あるのは理容所1軒。
- ・民間店舗が少なくなり、車で行く遠くになってきている。自転車、徒歩で買い物ができる商店の復活を願う(交流のある)。
- ・薬局が新設された。ほか

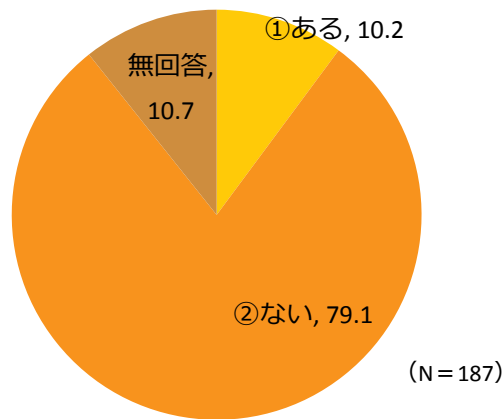
### 3-2) その他、過去10年間に地域で大きな状況の変化（自由記述）

- 鬼太郎ロードの観光客増（現在リニューアル事業が進行中）。クルーザーの入港増。大陸との水・空航路の開設。
- 世帯数及び人数の減少（大多数は自然減）
- 少子、高齢化と世帯数の減少が進んでいる。
- 高齢者の死亡、転居等による会員世帯の減少。
- 独り暮らしの高齢者の死亡等による人口減と空き家増。
- 公有地売却。住宅地の増。駐車場の増。
- 商店が年々減少。以前は20店→現在5店。
- 空き家の増加。
- 地元の大きなスーパーが無くなり、お年寄りが困っている。
- 老人世帯が多く、町内会の活動への参加者が少なくなった。
- 住民の数が少しずつ増えた。養護施設が増えた。子どもの数が減ってきた。
- マンションが増え、空家もほとんど無くなり、きれいな町並みになっています。
- 新築住宅、アパートが増加した。

ほか

### 3-3) 交通・買い物・通院等に関する対策や話し合いの有無

対策や話し合いの有無（%）



対策や話し合い/居住エリア（人）

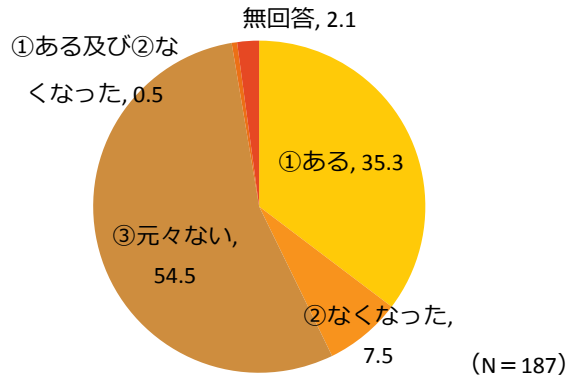
	鳥取市			米子市			倉吉市	境港市	無回答	割合 (%)		
	中心	中活	郊外	中心	中活	郊外	中心	中心				
①ある	14.3	9.0	8.1	29.2	7.5	8.8	8.8	0.0	7.4	4.3	0.0	10.2
②ない	79.1	86.6	86.5	58.3	72.5	76.5	76.5	50.0	81.5	82.6	100.0	79.1
無回答	6.6	4.5	5.4	12.5	20.0	14.7	14.7	50.0	11.1	13.0	0.0	10.7
合計	48.7	35.8	19.8	12.8	21.4	18.2	18.2	3.2	14.4	12.3	3.2	100.0

「ない」が約8割となり、居住地別にみても、大差はない。

## 4、コミュニティ（地域社会）

### 4-1）自治会（町内会）区域での固有の文化的資産（伝統芸能、祭など）の有無

固有の文化的資産（％）



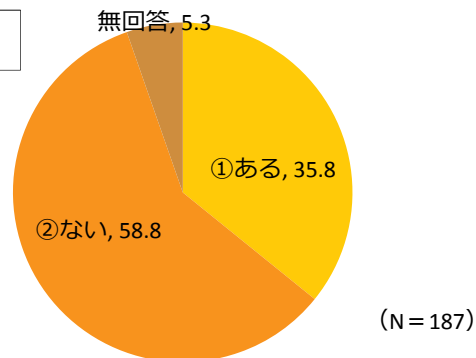
固有の文化的資産／居住エリア（％）

	鳥取市			米子市			倉吉市	境港市	無回答	割合(%)		
	中心	中活	郊外	中心	中活	郊外	中心	中心				
①ある	33.0	31.3	35.1	37.5	37.5	38.2	38.2	33.3	44.4	21.7	66.7	35.3
②なくなった	4.4	4.5	5.4	4.2	15.0	14.7	14.7	16.7	11.1	0.0	16.7	7.5
③元々ない	61.5	62.7	56.8	58.3	42.5	41.2	41.2	50.0	40.7	73.9	16.7	54.5
①ある及び②なくなった	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
無回答	1.1	1.5	2.7	0.0	2.5	2.9	2.9	0.0	3.7	4.3	0.0	2.1
合計	48.7	35.8	19.8	12.8	21.4	18.2	18.2	3.2	14.4	12.3	3.2	100.0

「元々ない」「なくなった」が62.0%と、区域での固有の文化的資産が「ある」と回答したのは35.3%であった。居住エリア別にみると、「なくなった」は米子市地域で平均値を上回り多くなっている。

### 4-2）その他、住民同士の交流を推進するための地域資源やグループの有無

その他地域資源やグループの有無（％）



その他地域資源やグループ／居住エリア（％）

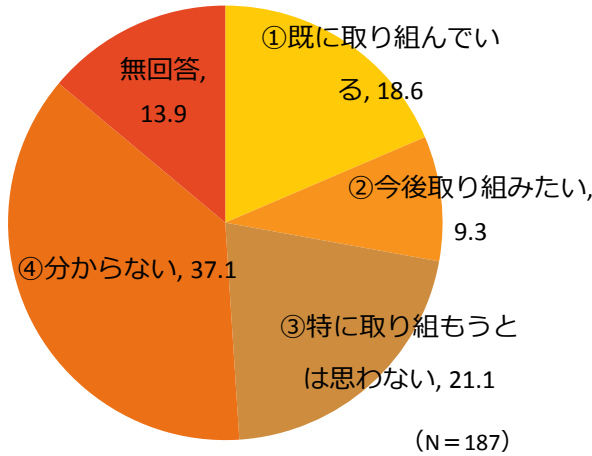
	鳥取市			米子市			倉吉市	境港市	無回答	割合(%)		
	中心	中活	郊外	中心	中活	郊外	中心	中心				
①ある	37.4	28.4	29.7	62.5	37.5	35.3	35.3	50.0	48.1	21.7	0.0	35.8
②ない	59.3	71.6	70.3	25.0	57.5	64.7	64.7	16.7	40.7	69.6	100.0	58.8
無回答	3.3	0.0	0.0	12.5	5.0	0.0	0.0	33.3	11.1	8.7	0.0	5.3
合計	48.7	35.8	19.8	12.8	21.4	18.2	18.2	3.2	14.4	12.3	3.2	100.0

交流を推進するための地域資源やグループが「ある」と回答したのは35.8%であった。居住エリア別にみると、鳥取市及び米子市の「郊外」で「ある」と回答した割合が多い。



### 4-3) 内外問わず住民同士の交流を推進する取り組みについての意向

交流を推進する取組についての意向 (%)



#### ①既に取り組んでいる：具体的な内容

- ・地区公民館を中心とした、地区自治会、まちづくり協議会等の教室、催し物他、鳥取市の事業、活動。
- ・町内会主催のバス旅行
- ・意見交換会を毎月開いている。
- ・町内会主催の納涼祭を通じて、住民相互の親睦を図っている。
- ・公民館活動を通し、他町区との交流。(運動会等のチーム)ほか

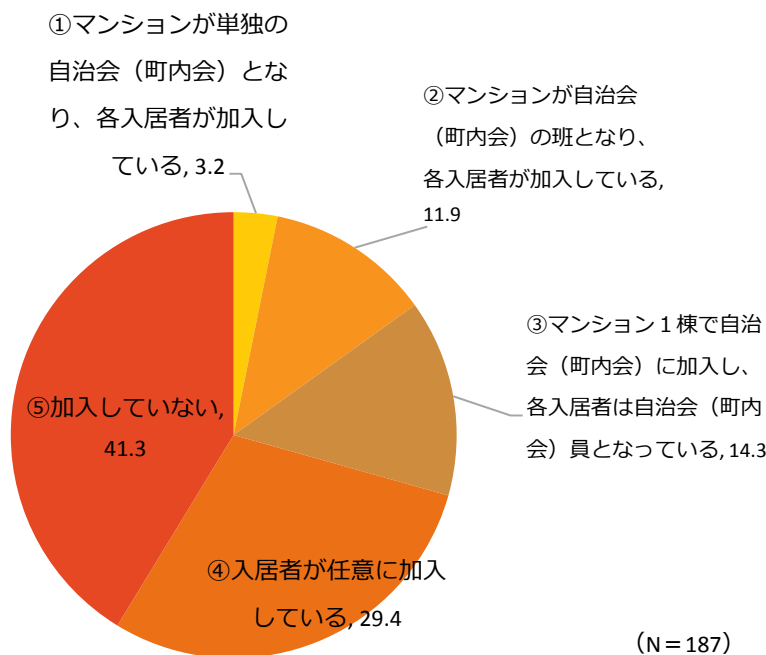
#### ②今後取り組みたい：具体的な内容

- ・近隣自治公民館との交流
- ・近隣の町内会との防災等の交流。
- ・住民間のコミュニケーションは大切だと思っている。町内会役員会(2ヶ月に1度)を一般住民も参加できるように、レクリエーションも年1回やっていきたい。
- ・子ども会中心の活動への支援。老人との交流。
- ・防災(他自治会と手を組んで)。ほか

「分からない」が37.1%と最も多く、次いで「特に取り組もうとは思わない」が21.1%と、交流を推進するための意向は少ない。

### 4-4) マンション等の地域の自治会（町内会）への加入状況（いくつでも）（自治会（町内会）区域にマンションがある場合）

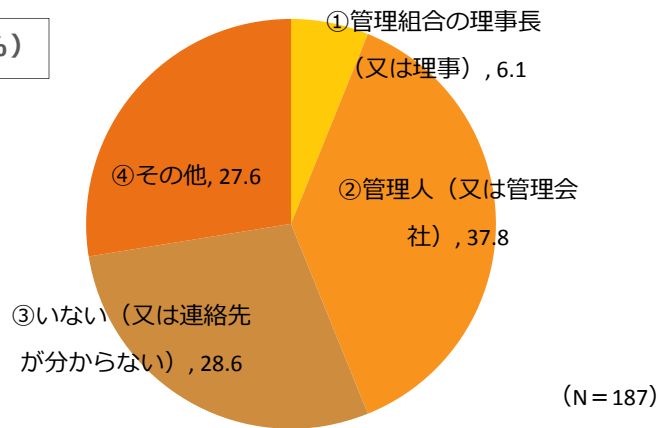
自治会（町内会）への加入状況 (%)



「加入していない」が41.3%と最も多く、次いで「入居者が任意に加入している」29.4%となっている。

#### 4-5) マンション等で地域の自治会（町内会）との連絡窓口になっている方（いくつでも）

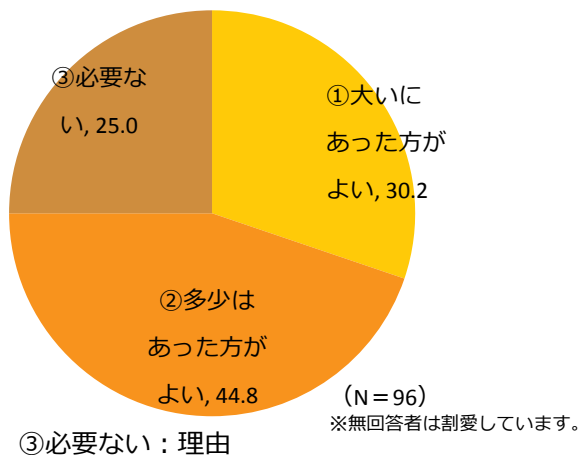
連絡窓口となっている方（%）



「管理人（又は管理会社）」が37.8%と最も多くなっている。次いで、「いない（又は連絡先が分からない）」が28.6%となった。

#### 4-6) マンション等入居者と地域住民の方との近所付き合いの今後のあり方

近所付き合いのあり方（%）



##### ③必要ない：理由

- ・出入りが激しい。
- ・短期入居者用のアパートのため。
- ・学生(大学生)マンションで3年程度で退去。住民票も親元。地域行事にも不参加。交流の必要性を認めず。
- ・対話しようとしても出てこない。
- ・高齢者が多く、つきあいを拒否している。
- ・マンション入居者は独自の活動をしているから。
- ・マンションの多くの方は、その匿名性の高い環境を好んでおられると思う。

##### ①大いにあったほうがよい：理由

- ・自治会の活動に協力してもらえるのでよい。
  - ・災害時の入居者安否確認のため。
  - ・災害等で協力しあえる。
  - ・お互い安心、安全に暮らせるため。
  - ・独居老人、防災問題のため。
  - ・若い人が増えて、いろいろな発想も多くなる。
  - ・自治会員として共通認識を持たせる。
- ほか

##### ②多少はあったほうがよい：理由

- ・ご近所付き合いして頂ける方、したくない方、両方の方がいるから。
- ・町内の決まり等、知ってもらいたい。ゴミ当番、一斉清掃参加、行事参加、役員参加
- ・町内会加入者まかせになっていると感じるから。
- ・どのような人が入居しているか不安なため。
- ・居住者が変わるが、どんな人なのか知っておきたい。
- ・関わりが強くなると、町内会から脱会される可能性がある。程良い距離感で、長く居住して頂く方がよい。
- ・小学生の子どもがいる時は、様々な場面で町内との付き合いが必要。子どものいない家庭にとって、マンションは一時的な仮住まいなので、町内会との関わりは必要ないと思われると感じている。ほか

「多少はあった方がよい」が44.8%と最も多くなり、次いで、「大いにあった方がよい」30.2%の順となった。「多少はあった方がよい」理由として、町内の決まり等を知ってもらいたい、どんな人なのか知っておきたい等であった。

## 5、困りごと、不安

### 5-1) 現在、地域で困っていること（自由記述）

趣旨が同じ内容を整理統合し掲載したものです。

コミュニティ 自治会運営	少子高齢化	人口減少、高齢化により公民館活動等をはじめ、各種の役員、委員の確保が大変である。
		高齢化社会になり、これからの事が心配です。
		募金、寄付金の出金が多い。
		原則は輪番にしていますが、自治会役員のなり手が無い。理由①近所付き合いは必要と感じてない。②自治会に世話にならない。③メリットがない(加入しなくても生活が出来る)。④活動に興味がない。⑤行事に参加したくない。⑥転入で地元へのなじみがない。
		役員の入れ替えが困難である。人数が大変少なく、積極的な町内活動に対する意識が低い。
		会員数の減少で継続事業の実施に不安があり、経費の縮小に取り組んでいる。(会費収入減)
		若者がいない。子どももいない(小・中学生なし)。
		町内会の活動に参加する人が少ない。
		役員、班長等、一部の者しか参加しない。
		高齢化、独居老人、老・老介護、空家等、街なか自体が過疎化、高齢化して山間地のような。もっと行政は街なか活性化対策を本気ですべき。
		参加者を増やす事。どうしたら増えるか。地域コミュニティの理解を深める方策を示して欲しい。
		「向こう三軒両隣」意識高揚として、一声運動をやっても効果が上がらず。
		テナント(小規模)により、入居者の自治会加入がほとんどない。住まいと店の分離(住まい側で入っている)。
		少子高齢化が進み、祭に参加の人数が減少している。特に子どもがいない。
		役職について人口の小さな町で将来一つの町として成り立っていけるのか。ある人は少なくとも(この町が)隣の町と一緒に住みたいと「つぶやき」ました。皆様考えは一緒だと思います。
		住民の中にはルールを守らない人がいます。注意をしてもなかなか守ってくれません。
		町内会に非加入宅。
		高齢化による役員、班長等のなり手の不足と、役員の固定化。役員の仕事量増加のため、勤労世代が役員になりづらい。福祉関連の会合等、平日の日中に行われる場合が多い。女性が役員になりづらい傾向がある。女性が多いが、男中心の運営で良いか？
		個人情報教えてもらえない。誰が住んでいるのかわからない。
		伝統行事の石がま漁は、年1回実施しているが、年を過ぎるごとに漁獲量が減少。平成29年は0(ゼロ)匹で散々な結果。
	住民相互の連帯感の希薄化による活動の停滞。	
	高齢や病気の為、清掃等の当番をこなせない人がいるが、それに対する取り決めが確立されていない。	
	個人情報保護法等で自治名簿が出来ない。	
	若年層の地域行事などへの参加が少ない。	
	行政からの依頼事が多いので処理と報告が大変。	

コミュニティ	見守り・支え合い	<p>独り暮らし高齢者の地域の対応。隣組福祉員、民生委員の協力体制。</p>
		<p>中部地震後、独居の人の復興が遅れている。</p>
		<p>独居の生活困難者の方がとても心配です。丁寧にコンタクトを取ろうとしても応じてくれません。公営住宅入居者の方々がほとんどですので、行政の窓口機関と連携したいと思っています。社協等も協力していただきましたが、お手上げ状態です。</p>
	集いの場	<p>集会所がない。公民館の移転建築を早急に求めています。</p>
		<p>集会場所等、町内会の規模が小さくて確保できない。</p>
		<p>町内の公園及び会館が小さい。会館は他町内合同のため、調整が困難（運動会ほか市のイベント後）。</p>
		<p>町内会館の建設について。現在の会館が30年位前に建てられたもので、建て替えの時期にきている。しかし建築資金が不足しており、補助金と併せても会員負担が数万円（3～5万円）必要となる。会員全員の理解を得られることは不可能である。会館の老朽化は待つてはくられず、悩ましい。</p>
	公園・広場	<p>町内の公園が小さい。</p>
		<p>公園の草取りも人手が少なくまならない。</p>
	防災・防犯	<p>火災消火用の消防通路の除草が追いつかない。若い人が減って防災にも力不足だ。</p>
<p>夜間にバイクで走り回る人間がいる。無断駐車。</p>		
<p>落石災害地域にあり、地震、大雨等が不安である。</p>		
<p>集会所の広場のベンチが若い人のたまり場になっている（夜遅く）。</p>		
<p>街路樹が大きくなりすぎて、風、雪等の対応に困っている。防犯灯の視界も非常に悪い。歩道のアスファルトも盛り上がりが多く危険なのに、対応が追いついていない。アダプト活動にも限界を感じている。</p>		
<p>空き家の樹木の巨大化や繁茂で交通に危険がある。</p>		
<p>地区全体的に市道の街灯が少ない。</p>		
<p>道路が狭く、災害発生時等に消防車や救急車が通行できないこと。</p>		
<p>防災組織が全くできておらず、日々心配はしているが、いまだ具体的には何もなし。</p>		
<p>在宅高齢者の増加。身体不自由者の増加。公民館活動参加困難者であるが、避難時には援助のいる人の問題。</p>		
マンション	<p>アパートの住人が生ゴミ等を出す場合、分別等のマナーが悪い。</p>	
	<p>マンションとアパートは転勤があるので、町内会への加入率が悪い。</p>	
居住環境	買い物	<p>町民の高齢化に伴い、近くにスーパー等の店が少ない。</p>
		<p>以前、地域内にスーパーマーケットがあり何かと便利であった。採算面が取れなくなったと思われ、店舗がなくなった。大変不便を感じている。</p>
	交通不便	<p>市内の県道と市道との交差点で横断歩道が近づくなく、住民や観光客がともに危険を感じています。</p>
		<p>移動手段でタクシー利用が多くなった。経費面の支援があれば良いが。バス利用（停留所）まで歩けない人が多くなった。</p>
空き家	<p>空き家の再利用。</p>	
	<p>空き家が増えて、しかも古くなって家屋の倒壊が心配。合わせて獣が住みついたり。心配です。</p>	
	<p>空き家の老朽化で建物が一部崩落の危険がある。樹木の巨大化や繁茂で交通に危険がある。</p>	
	<p>空き家対策。一部所有者と連絡が取れない。敷地内の樹木が荒れ放題で、近所に迷惑。</p>	

居住環境	ゴミ・公衆衛生	ゴミの収集に関するトラブル(分別して出されない方がある)。
		空き地に雑草が茂っている。そこにゴミが捨てられる。
		観光客で犬を連れてくる人がフンをそのままにしていく。サーファーが多いが、駐車場を(道の駅、コンビニ)我が物顔で使ってバーベキューをしたり、ゴミを置いて帰るので、来てほしくない。
		ゴミ問題。(猫、カラス等による)
		町内高齢化による、側溝清掃等。
		ゴミ集積所におけるゴミの散乱及び処置。不法投棄と思われる物(会員外)が時々ある。
		ゴミの不法投棄(他地区)。指定日以外の持ち出し。
除雪	大通りは町内以外の人にも利用者が多く、今年のような大雪の時に大勢の人が立ち往生してしまった(近くの人達が夜遅くまで除雪作業を行った。1週間続いた)。	
	今冬の積雪で、買物にも行けない状況が数日続いた。老人世帯や空き家では雪かきが出来ない。	
	除雪が出来ない部分がある(家の前等以外の、誰も除雪しない場所)。	
動物	野良猫対策	
	鳥獣(からす、猪、鹿)対策。	
その他	今年初めて館長になったので、すべての動きが手さぐり状態なので、とりあえず1年間が経験の年だと思っている。	
	空き地と駐車場が多く、商店は2軒と少なく、活気がない。	

## 5-2) 将来に向けて、日頃不安に感じていること（自由記述）

コミュニティ 少子高齢化・自治会運営	高齢化世帯の増で、自治会役員の負担が増えている。自治会活動への理解が薄くなっていくと思われる。経費（会費）負担も重くなっていくと思われる。
	少子高齢化が進み、役員等の担い手が減っていること。
	住民同士のコミュニケーション
	小学校統合によって地域の活動が消滅
	世帯数の減少で、町内会費（町内会資産）が年々に食いつぶし状態である。
	高齢化が進み住民が少なくなる。
	子どもの増加が見込めない。子どもの声が少なくなった。
	高齢化、過疎化に伴う町の存続。時代の流れで若者が帰って来ると思うが・・・。
	30歳以下が皆無のため、不安である。（将来が）
	町内会を退会する人が増えるのでは。
	会費収入の減とともに、運営改善が必要（祭りの参加、会館の維持）。
	街なかに若者を定住させる施策。例えば住居、土地等の入手支援、就活の支援、帰省・帰郷等への支援。そうしたことを行政と地域が一体化して進めるような音頭とり、施策を打ち出してほしい。現状ではしりすばみ。人口減少、消滅地域になるかも。
	現在、小学校に通っている子どもさんは合計4人です。今後これ以上に進んでいく気がします。若い人の定住が望まれます。家が建てられる様な土地を行政がつくるべき。
	（一声運動の活動をしても）自治会加入者増強へ効果あられず。
	高齢化率が上がること。幸い70歳代の元気な男女が20%をしめているが、5年後を考えるとゾツとする。
	人口の内80歳以上が1/3をしめており、何を行っても同じ顔ぶれです。高齢化率70歳以上は50%をこえております。自然消滅状態。
	高齢化と独り住まいが増えて、現在の会費負担が重荷になっている。自治会経費の半額が寺（檀家なし）、神社の経費である。文化財の維持経費の補助等の検討を願いたい。
	将来、町内会として存続出来るか不安。
	加入が少ない町内会である。班（現在6班）同士の交流が少ないと思う。
	だんだんと公共性が薄れ、今のシステムが維持できるか不安。働き盛りの男性の死亡率が高く、単身女性の割合が高い。未婚男性の増加。高齢母親と独身息子のケースが多い。単身になったとき、役員をやるか不安である。夫婦で何らかの協力をしながら、役をこなしているケースが多い。
町内役員（活動主体）に会社員がいない。退職者、自営業者で構成。会社でもコミュニティー活動休暇等（有給休暇等付与）を与え、もっと地域貢献してもらいたい。	
核家族化による若者の流出。	
高齢化が進行し、今日まで自治会活動に注力してこられた方々が町内から疎遠になり、活動や情報の承継ができなくなるのではないかと感じます。	
小さい自治会なのでこじんまりとまとまっている。小さいなりに、何か目標を定めたいが、適当な案がない。	
今後10年間で後任の民生委員等の選任です。	



コミュニティ	見守り、支え合い	町内全体が高齢化しており、福祉が重要となるが、住民にその意識がない。
		高齢者独り住まいが増え、将来への生活。他人は他人。無関心。
		独居高齢者への対応。
		高齢化による高齢者の見守り。
		時代の変化による影響はあるが、地域住民の幸せのため、孤独、孤立、無縁社会の到来は避けなければならない。
		独居老人、施設に入っておられる方等との結びつきを、いかにつくるか。
		認知症の人が増えている。
	防災・防犯	地震、大災、大雪等の取り組みが必要だと考えている。
		高齢化率が50%近い町内であり、災害発生時にはどのような対応をしたらよいか不安である。近所の付き合いが少なくなったことを特に感じる。
		半島の先端のため、災害時の避難が不安。
		大災害を想定し、その復興に向けた中心地のビジョンがあっても良いと思う。
		地域（住民）が強くなるといけない。行政（市や県）にまかせてばかりでは、建設的なまちづくりはできない。自分達でできることはヤルこと。例）除雪、草刈り、防犯、防災。
山側の安全対策について。（樹木、側溝の整備、防火対応を含む。）		
災害時の名簿がわからない。		
災害が発生した時、昼間は助ける人がいない。市は自助、共助というが、自助、共助が出来ない。		
この地域は「傾斜地がけ崩れ地域」なので心配だ。		
平成29年3月に自主防災会を結成したが、いざ災害が発生した時に何も準備ができていない為、不安です。今年中に何が必要なのか役員会で話し合います。		
東北震災では津波が発生しました。この度の鳥取中部地震では震度6強をもたらしました。日本海も津波が来ないとは限りません。いうならば私の町も川のそばです。どう避難してよいか考えさせられるしだいです。		
居住環境	買い物困難	高齢者の人口が増加し（36.6%）日常の買い物に不便を感じている。
		公共交通が無いので心配。
		中心地区内の交通。高齢者の移動の問題。
		今後、高齢化が着実に進んでくる。自動車の運転が出来なくなった時の買い物等、交通手段が心配。
	空き家	空き家が増えるばかり。高齢化率70歳以上は50%をこえております。自然消滅状態。
		高齢者のみの町内となり、将来空き家が増えると思われる。
		空き家、独居が増えており、地震でダメージのある住宅（空き家）がそのままになっており、危険なところもあります。持ち主が分かっている空き家は早急に調査し、何らかの対処をして頂けたら安心できます。
	動物	イノシシ等の対応。
	他その	増税。国保、介護保険料の支払い等、負担が重過ぎる。
		当地区には、建築物に対し景観条例による建物規制があります。西部地震による被害で古い建物が解体され、空き地として整備されていますが若者夫婦が35年のローンで新築の夢をとプランを検討するも、屋根勾配、建物配置、塀、車庫等思い通りにならないとのこと。少子高齢化の進む当地区にはぜひ若者の安住が必要であり、重点地区以外の地区については若干の規制緩和を願う。

5-3) 地域で不足しているサービスで、何か必要なもの（自由記述）

コミュニティ	少子高齢化・自治会運営	家の中にて、ちょっとした重い物を移動させるとか、電球の球替えとか、高齢者には苦手の事を頼む人があれば。
		横とのつながりがほとんどない。
		高齢者への福祉サービス(配食、サロンの開設等)
		何をしても参加者がいないです。
		民生委員の活動量が多い。これらの条件が変われば、多くのへい害が発生する。
		市、県、神社、諸団体が町内会に雑用を押し付けすぎだと思う。
		情報の周知が少ない。
	見守り、 支え合い	高齢、身体不自由者の人への負担軽減等。
		包括支援センターと連携を取りながらの、サービスの流れが未定着。
	集いの場	集会所等の施設
		老人がいつでも立ち寄れる場所。
		町内の交流サロンの場所が必要。
	公園等	子どもの遊び場(公園、広場)
	防災・防犯	現実的な防災マニュアルの作成
防災グッズ、避難グッズが必要とアンケートで答えているが、いつのことやら返事がない。地震、大雪と経験して、次は大雨洪水が心配。再度地震も想定しないと駄目である。行政の皆さんの活動を強く期待している。住民の声を真剣に聞き取ってください。		
防犯対策の重要性を感じます。例えば警察官の定期的巡回。		
居住環境	買い物困難	高齢者の買い物がもっと楽にできるサービス。
		配食、生活品の宅販等を業者まかせでなく、行政の支援、配慮を。
		ミニスーパーはあるけれど、品物等の種類が少ないです。日曜日は休業で不便です。
		当町内会(地区)で食品店等がなく、老人が多くなると住みにくくなる。
		生協で宅配サービスを受けている家庭が多い。高齢者がどのようなかたちで買物できるか心配である。
		スーパーも無く、老人が買い物に行くにもスーパーまで遠く大変である。
		食料品、日用品の店をまちなかに設置。
		高齢化による買い物難民の増加。生協の巡回車頼みの家庭の増加。
	交通不便	交通手段。特に高齢者へのサービス強化。「くる梨」とか「サービスタクシー」等の充実。
		高齢者対応のタクシーサービス。
除雪	今年の大雪で、除雪サービスが欲しいと痛感しました。町への進入路が5つあり、そのうち4つはかなり急な坂道の為、車が動けず大変でした。高齢化で除雪の人力も無く、公営住宅(県営)の横にある坂道だけでも除雪して頂けたら助かります。	
他その	他その	私の町内ではポストが1つも無く、大変不便を感じている。



## 6、その他、自由意見

趣旨が同じ内容を整理統合し掲載したものです。

鳥取市	現地に出向いて直接住民の考えを聞く等するのが、より良い方法だと思います。
	町内会の運営上の問題:若い人の参加意識が低い。
	町内会の運営上の問題:町内会の活動に参加する人が少ない。老人が多く、「くる梨」に乗るまでの距離が長い。町内へ(くる梨を)まわしてほしい。
	鳥取に県外から移住してきた人の会に入っている。移住して来た人たちは明るい。とつても元気をもらえる。自治会費(町内会費)について:強制的な寄付が多すぎる。
	独居老人等も町内に増加してきており、災害時にどのように支援するか、体制が出来ていないのが悩みである。個人情報に関連で名簿すら作られていないのでどうしようもない。防災に限って名簿を作る等の緩和策はできないだろうか。個人情報保護のために人の命を救えないのであれば、本末転倒のように思います。空き家を解体して土地を再利用することについて:当地区は住宅環境として優れている。(病院が多い。コンビニ、スーパーが多い。バスが多い。レストランが多い。)更地にすれば入居希望者は多い。住宅街として再開発するのが望ましい。
	高齢世帯がほとんど(女性の独り世帯が半数近くあり)。
	町角にイスがあった方が良くと思う。
	自治会(町内会)の運営上の問題:町内会長を引き受ける人がいない。また民生委員もいない。
	町内会長や役員の仕事が多過ぎるのではないのでしょうか。助成金等ほしいのでやらざるを得ないのです。従来、高齢者は仕事もなくなり暇だとの観念があったかもしれませんが。しかし昨今、就業しなければ家族の生活に支障が出たり、孫の世話(幼稚園も祖父母が近隣に居住する場合は時間外の預かりはしない)をしたり、それこそ老々介護や自身の身体不良、持病等、毎日が大変な生活です。そんな状況の中で町内会長や役員、民生委員等の就任希望者はとても少ないように思います。(若者は育児があり無理です。)また特に年々町内会の仕事量は増加しているように思います。この点の認識を共有する必要があるのではないのでしょうか。
	昭和の時代は人口も多く、子ども達もどの世帯にもいて活気にあふれ、まちなかでの生活も近くには八百屋さん、魚屋さん、豆腐屋さん、肉屋さんがあり大変住み良い町でした。今はいろいろな店が無くなり、老人が多く、支える人が少なく、人の世話をする人も無くなりつつあり、町内会の維持が難しくなっている。まちなかで便利の良い町でしたが、今は不便な町となりつつある。空き家が増え、老人世帯が増え、独居老人が増え、若い人は郊外に家を建てて去っていく現況である。最近になって、少しずつ新しい家が建ち若い家族が入居しているのが頼もしいかぎりである。ともあれ今、まちなかは住みにくい町になっていることは確かである。
	地域は自分の存在地、育ててくれる場所。お互い住民があいさつ、かかわり等で住み良いまちづくりに努力したい。在任中に側溝完了、街路灯は8割方LED化、ゴミ集積場等やってきました。これから安全なまちづくり。大雨の時の水があふれるのを防止する対策や、災害時の対応等に向け活動していきたい。持家率が低い。
	高齢者が参加出来る娯楽施設、スポーツ施設。
	災害を想定しての自治会(町内会)の対策:火災について消火器を全戸に設置。
個々のプライバシーに過敏に反応する人が多い。人は人、自分は自分、個人情報保護、となると、人と人の関係は縁遠くなる。まるで東京や大阪のような都会型の地域だ。一方、町内会活動は、地域の人と人の関係性を高めようとするから、この都市型の匿名性の高い地域の価値観と相反する。しかし個人情報保護が正論であるが故に、町内活動を高める取り組みの方が足元をすくわれる。町内会の役員が、いくら人と人の関係性をつくるのが大切だからと呼びかけても改善しない。まずは淡々と地域活動を展開する。それに参加してもらい、目的を達成する過程で、結びつき大切さに気付いていただければどうか。参加の動機付けの仕掛けは共通の「敵」。 まちなかの対極にあるのは郡部。もともと人と人の結びつきが強い上に、そこには共同で解決しなければならない課題がある。山林などの共有財産があり、神社があり、お祭りがある。道をつくったり、溝を掃除したりの共同作業がある。人と人が共有する課題=共通する「敵」に結束して戦う必要があるからまとまる。 まちなかの生活に課題はあっても、多くは自分達ではなく、行政の責任となる。しかしゴミ収集、子どもの健全育成、神社の祭り、防災、災害弱者等、行政だけでは解決しない課題がある。 町内会という顔が見える範囲で共通の敵を見出すことができれば、団結して戦うことができると思う。リードする人間が、最初につながるの核をつくり、町内共通の「敵」を示し、とにかく動き出す。動きながらつながりの輪を広げていく。そんな手法を考えている。まずは手足を動かしていくことから取り組んでいきたい。	

鳥取市	鳥取市は良いサイズの都市と思う。交通の整備は早くしっかりやってほしい。道路、飛行機、JR他（バス、タクシー）価格はそれなりにリーズナブルに。高齢化に向けたすごい対策があるはずもなく、自治会とて継続見守る体制があることが必要。
	自治会（町内会）の運営上の問題：役を受ける人が限られる。
	交通、生活に便利な地区であり、空地は住宅、駐車場等にすぐ活用されている。会員数の減少により運営が困難となった。事業の見直し（敬老会等）が必要。町内会加入を義務化できないか。
	まとめた結果をどう施策や行動等に反映させるかが問題。アンケートをとって実態がわかってそれで終わりが多いのでは。タイトルのように「安心して元気に暮らせる『まちなか』の実現をめざして、/施策に反映されるよう期待しています。（調査結果は後日、知らせていただけますか。そこまでしてください。）自治会（町内会）の運営問題：町内会の役員の引受け人が少なく困っている。市、関係団体等からの配布文書、集金等が多く、自主的活動が妨げられている。
	少子高齢化、人口減少により地域全体が衰退ぎみである。若者と老人と一緒に活動できる行事やイベントを行い（人と人のつながりを強くし）若者が地域を愛し、安心して子育てができるような環境づくりが必要ではないか。
	町内会の活動について：参加者がいないのが残念です。
	自治会の運営上の問題：高齢者の世帯が多い。町内会員の6割が60歳以上。空き家が多い。
	自治会（町内会）の運営上の問題：高齢者世帯が増え、独り暮らしの高齢者が多くなっているので、運営上予算がたちにくい。自治会（町内会）の活動について：市からの活動費を増額してほしい。
	市役所が移転となることで跡地の問題が心配だが、校区は病院、図書館、イベント会場、マーケットもあり、住みやすい地域である。あとは小学校の子どもが増え活性化して、子どもの声が聞こえる賑やかな町になればと思う。
	関西広域なのだからTV朝日系、TV東京系が映るようにしてほしい。ケーブル契約すれば見られるというのは困る。
	今の町内会は市の下請け作業があまりに多い。負担が多すぎて、独自の事業が出来ない状態になっている。実に便乗型が多すぎて、従来の「ゆとり」のある町内活動に戻らねば、役員のなり手が無くなる。町内会の加入について：町内会加入を拒否する人が増加している。町内会の活動について：町内会は社会活動。生活上、最小限必要とする組織です。しかし近年、若年層では社会への連帯意識の欠如が顕著となり、困っております。災害を想定しての町内会の対策：近々自主防災会の組織化を考えています。内外を問わない住民同士の交流についての取り組み：いろいろと発展事を考えなくてはならない。地域に必要なものについて：隣人、地域の人々を思いやる心、優しさの精神が欠落している。自分だけの利益や打算に走る人が多くなっている。心の荒廃を直視する必要あり。
	本町内でも空き家が増えてきているが、その有効活用にまで至らないのが現状。若者（家族）がもっと利用（購入）できるような、行政措置はできないものか。なかなか所有者が家屋を手放さない現状を変えていかないと、ますます人口減に拍車がかかる。
	自治会（町内会）の運営上の問題：独り暮らしの高齢者、障がいのある人
	町内会の運営上の問題：年齢層が若いので、行事等への参加人数が少ない。
	自治会（町内会）の運営上の問題：執行部のなり手がいない。
	公共交通機関の充実。バス路線は現在、駅中心（発着）だが、鳥取駅は通過点として、乗り換えが少なくなる様に。空き家を建物として活用することについて：マチカフェ等、集まる拠点に使う事ができればと思う。
自治会の運営上の問題：高齢化	
町内への食堂、喫茶店、日用品の販売等規制があり、日々のたまり場がない。（遅くまで営業出来ない。）自治会（町内会）の運営上の問題：当初の造成時に区割り決定された。（戸数に大きな違いあり）各町内会ごとの運営は問題なし。地区全体の運営は現状のボランティア主力では無理がある。規模が大きすぎる。空き家の建物としての活用方法について：町内会に相談があれば検討する。	

鳥取市	<p>自治会の運営上の問題:役員登用の人材不足。住民の高齢者の占める割合が増大し、活動主体の減少。</p> <p>自治会は行政の下請けではない。自治会活動と地区の公民館活動もやらなければならないので、役員は暇な年寄りしかできない。なぜ公民館活動に組み込まれなければならないのか。しかも運営費も取られてしまう。自治会で清掃、防災訓練は必要だと思うが、余計な行事等はやりたくない。自治会なんて入らなくても何も問題無い。将来は退会する人が増えるのでは。防犯上が気になっている。自警団の必要もあるか？</p> <p>安全な住宅地なので、まちなか生活というものの実感が湧きません。住民に(行政の)仕事をやらせすぎる。市報等、行政がお金を出して配達してください。一斉清掃は必要か？(住民がやるべきことか)様々な地区負担金を負っている一方で、様々な行政からの助成金制度がある。複雑すぎる。町内会の自主防災組織について:自主防災の規約はあるが、組織は結成されていない。</p> <p>町内会費の中から地区公民館を通して支払う負担金が多すぎる。地区自治連合会の下部組織として、町内会があると思われるが、立ち位置がよくわからない。 空き家の活用方法について:今現在グループホームとして、空き家が活用されている。</p> <p>町内会の運営上の問題:活動に参加する人が、事業によって決まっている。</p>
米子市	<p>町内は市内中心部に位置している。商店街が元気だった頃は終わり、シャッター通りとなってから数十年が経過した。その間には商店街の活性化のために、いくつかの新たな町づくりについて計画もされてきたが、実現には至らなかった。そして商店の閉店や居住者の町外等への転居により、住宅は空き家となり、現在は廃家の状態の建物が多数あり、一部の建物は倒壊の危険がある。またこの地域は、今でも下水道が整備されないままで、生活環境は良好とはいえない状況である。町内の少子・高齢化は確実に進行しています。最近、高齢者の方の話題で多いのは、買い物が不便になったことで、それは近隣にあったデパートが閉鎖したためであり、近くにはスーパーやコンビニもなく、高齢化が進む中、不安を感じております。</p> <p>自治会の運営上の問題:高齢化と若い人が町外、都会に出て少なくなった。</p> <p>市内どこの「まちなか」も年々人口は減少しており、高齢化が目立つ。若い人が住める住宅がない。(現在の土地では2世帯住宅等は建築出来ないから)年々、子どもも減少しており、子ども会が「ない」自治会も結構ある。自治会の運営上の問題:役員のなり手がいない。</p> <p>最近若い方が子ども連れで転勤してこられ、にぎやかになり良くなったと思う。</p> <p>自治会の運営上の問題:仕事が忙しく、活動に参加出来ない。(勤務が不規則)活動に参加したくない。</p> <p>駅、市役所、医大、湊山公園、美術館、公会堂、ビッグシップ、加茂川、高島屋等を柱とした中心市街地の将来ビジョンをつくるべきと思う。その際、柱とするもの以外は全て更地として考えるくらいの発想が必要と思う。</p> <p>自治会について:地縁による団体として法人化すべきだ。</p> <p>自治会の運営上の問題:規模の大小問わず、自治会役員等の参加機運が希薄。また家族構成2世帯(代)以上の家が少なく、役員世代交替に苦慮。一度受けると長期化。世帯数は多い方が自治会費が少額で運用出来るのでは。10世帯位の班長さんの見回り等が動いていただける規模か。</p> <p>町内会や公民館の役員、また各種の会合等の出席をお願いしても良い返事がいただけない。70歳以上が半分弱を占め、また転入者が見込まれないため、住民減となるのが目に見えている。旧市内を活性化し元気を取り戻そうとの計画があるものの、現状から見れば大変だと思う。個人情報保護法が障がいとなり、聞けない事項があって苦勞する。災害時の避難場所ですが、旧市内には避難場所が無い。以前は公民館が指定されていましたが、老朽化、耐震化に伴い、離れた場所に移転が計画されています。高齢者が多く、近くにあれば安心なのですが。</p> <p>自治会(町内会)の運営上の問題:65歳以上にならないと年金がもらえないので、自分の生活だけで自治会まで手がまわらない。自治会(町内会)の適正規模について:世帯数や人数ではない。年齢構成である。</p> <p>自治会(町内会)の運営上の問題:高齢者が7割のため、活動が困難である。 社協、公民館への負担金の問題。</p> <p>自治会の運営上の問題:高齢者ばかりで子どもが少ない。集会所が無い。自治会活動について、かつて活躍された方々が皆、年をとって動けなくなり、自治会活動が目に見えて低調である。</p> <p>1町内での動きには限度があるので、できる限り公民館、包括支援センターと連携を取りながらやっている。しかしもっと連携や協力の姿がありはしないかと、日々思っている。自治会長、民生委員等の連携、協力も、もっと幅広く行っていきたい。災害を想定しての自治会の対策や話し合いについて:話し合いは何度もしているが、高齢化に伴い、具体的な行動が出にくい。高齢者等の(防災)マップは作ったが、具体的な活動が不明確。住民同士の交流について:7班のうち、1つの班が年に1回食事会等を開いて交流。</p>



<p>米子市</p>	<p>市営住宅は入居したい方が多く、なぜ入居出来ないのか聞く方が多く、返事に困る。また入居されている方達からはなぜ募集しないのかと苦情が多く言われる。このままの状態ではこれからの自治会運営にも支障がおこるような状態。自治会役員や自治会長になる方がおらず、自分は10年以上している。脱会する方、脱会する班も増えている。</p>
<p></p>	<p>自治会の運営上の問題: 高齢者の独り暮らしが多い。役員をする人が少ない。</p>
<p></p>	<p>自治会の運営上の問題: 自治会長が1年で交代しているので、選任が難しい。</p>
<p>倉吉市</p>	<p>自治会(町内会)の運営上の問題: 地区公民館行事への参加が少ない。自治会費(町内会費)について: 地区から募金を半強制的にとられるのはいかがか。</p>
<p></p>	<p>自治会(町内会)の運営上の問題: 少子高齢化で役員になる人が少なくなっている。</p>
<p></p>	<p>何処でも同じですが、若い人は新しい事に対して直ぐ反応し行動しますが、高齢者はいろいろと情報は受け取っても直ぐには行動しません。どちらかといえば急激な変化は求めません。従って人口が少なくなっても特に特別とは思っていないのかも。10年前70歳でこの町に住んで役職につくなど考えてもみませんでした。行政からの注文というか、自治会に対して役割が多過ぎます。役職に対してなる人がいなくなります。若い人のボランティア精神はどこか一言いいたいです。空き家について: 行政として真剣に取り組んでほしい。強制執行に値すると思います。文化的資産(祭りの神輿)について: とても昔を思い出すようなものは期待できず、神輿を担ぐのも若い人が参加しないので、伝統等だんだんとすたれているように思えてならない。</p>
<p></p>	<p>持続して地域が存続する条件は? 町内の実績、経験からみると、三世帯の同居とか、近くに祖父母が住んでいる家庭は比較的安定感があり、役員を引き受けるケースが多い。親の姿勢をみて育てている事もあると思う。また祖父母に子どもを預けて役をこなしている。公務員、教員の方が特に地域貢献することが当たり前である社会になれば、地域力は上向く。また彼らが一般の市民と同じレベルで会の活動をし、行動することも大切だと思う。経済的に豊かな人は時間の少なさを金銭面(寄付等)で地域貢献することも大事である。生活環境を維持するためには、事業者が経営を維持できるための、行政、地域住民の協力、負担も考える行動も必要となる。空き家の発生が予想される住宅に対し、行政側で事前調査できないか。</p>
<p></p>	<p>自治会の規模について: 小さい大きいではなく、江戸時代以来続く町内会がそのまま引き継がれて、今に至っている。</p>
<p></p>	<p>公園下の法面を含む危険区域があり、立ち入りが制限されています。以前は住民が管理していましたが、危険という事で年に2回シルバー人材センターの方が、市の委託を受けて草刈りをしてくださっています。けれど年2回ではとても足りず、草は伸び放題で荒地と化し、県と市による「危険地域なので立ち入り禁止」という看板が見えなくなる程に草が茂ってしまいました。子どもたちが入ると危険ですし、危険区域の指定がなされた以上、行政が責任を持って管理してください。お願いします。また国交省が、町のすぐ横を流れる川の河川敷の草木を刈ってくださらないので、洪水のおり等危険が増しています。雑木林のようになっており、自分の町のみならず下流の町の方へも危険が及び、大変な事になるのではと心配しています。</p>
<p></p>	<p>地域(地区)全体が少子高齢化。それがますます進展し、住民の活性化が無くなっている。しかし高齢者はますます元気であるように思える。 自治会(町内会)の運営上の問題: 少子高齢化の進展に伴い、町内行事の開催に支障をきたしている。空き家世帯の増加等による住民の減少。</p>
<p></p>	<p>若い人の関心が薄い。</p>
<p></p>	<p>行政の内容、住民、県民の声を真剣に聞き取って改善・活動をお願いしたいところです。このアンケートを活かしてください。 町内会加入に関して、条件はないが、不動産業者が町内会加入を勧めていない。理由は、家庭ごみは不動産単位で処理をするから町内会は必要なしとするから。 自主防災組織の結成について、活動訓練まで至っていない。昼、夜間の人数確保ができていない。防災マップが市から出ているが、住民の徹底は出来ていない。もっと進めるべきである! (組織、活動訓練、認識の徹底) 空き家を解体して再利用するとすれば、駐車場、売却、住居がまず第一である。町が賑わい、活性化が再現できる。行政の相談と協力が欲しい。</p>
<p></p>	<p>自治会(町内会)機能を他の自治会(町内会)との共同化について: 今後必要と考える。</p>
<p></p>	<p>自治会の適正規模について: 20歳以上50歳位が30人いればよいと思う。 災害を想定しての自治会の対策について: 高齢者が多いため、まず自分の身の安全を確保すること。</p>

<p>倉吉市</p>	<p>私の町のマンションは、自治会(町内)に入る選択は自由参加と言われています。この方針を変えなければ、お互い一つにならないと思います。</p> <p>民生委員の選出について。町によっては、住民の意向として民生委員を替えて頂きたいとお願ひしても、聞き入れられない。それは市の方針として民生委員本人の意志確認とされているためです。ここに問題があると思います。</p> <p>昨年、平成28年10月21日に鳥取県中部地震にみまわれました。それは大きな被害にあいました。その時、各町のリーダーに招集がかかったのですが、集まった16人中2人しかヘルメットを持参していない気が付きました。今後この経験を生かし、自分自身の身を守るためには全員のヘルメット着用が必要だと思いました。</p>
<p>境港市</p>	<p>自治会の運営上の問題:当町内会は高齢者が90%以上で、防災等に関して問題点が多いと思う。</p> <p>旧市街地の活性化を図ってほしい。</p> <p>高速道路。鉄道、車とも本線に乗るまで1時間を要する。魚類だけでなく、人の避難など速い方が良い。その他、観光客、物資など増え、輸送費及び排出ガスが増大している。431号線上へ高速道路を新設して欲しい。自治会運営について:人数より年齢層のバランスが大事。高齢者ばかり多人数いても運営できず。</p> <p>当自治会は昭和40年代に発足し、現在まで継続的な活動を行っております。運営としては会長以下役員で総会で決まった諸行事等の活動計画や運営方法等を決定し、会員にお知らせし実行しております。年間の諸行事を実施するに当たり、毎月1回定期的に役員会を開催し打ち合わせや準備等を行い、その後意見交換のため親睦会を実施しております。当自治会では自治会館にて、定期的な役員会や諸準備の小委員会、各種大会の慰労会、老人会や子ども会の会合など行っております。もし自治会活動の拠点となり得る会館が無くなれば役員会等の開催は会長宅や離れている公民館等の利用になることや、活動備品類や防災備品等の収容場所の確保も必要になることから、必然的に自治会活動が衰退に向かっていくこととされます。問題提起ですが、地区の自治会のうち小規模自治会(10世帯から50世帯)が7割近くあります。各種行事の参加は合同で参加しておられますが、いざ合併の話題になるとそれぞれの自治会長が消極的です。小さいところは集まりや連絡等それなりにメリットがあるとおっしゃられていますが、自由に活用できる会館があれば合併促進の一助になるかもしれません。</p> <p>当自治会は自由に使用できる会館があり、酒を酌み交わしながら自由闊達な意見を出し合い、様々な行事等のやり方や役割等の協力体制ができ、特に祭りの催し物等、参加される会員の皆様に大変喜んでいただいております。今後も会館を活動拠点として、当自治会の伸展は揺るぎないものと実感しております。</p> <p>自治会の運営上の問題:高齢化が進み、役員の確保が難しい。</p> <p>自治会(町内会)の運営上の問題:役員交代、選出が難しい。</p>